

令和2年度

# 事業報告書

社会福祉法人吹上苑  
特別養護老人ホーム  
やすらぎの家

	ページ
はじめに	1
法人が実施する事業及び根拠法令	2
1 法人関係会議開催状況	3
2 施設別利用状況	5
3 利用者の状況(月別・保険者別利用者の在籍状況)	6
4 利用者の男女別年齢構成	8
5 入所申し込み申請件数	9
6 施設見学組数、事前面接件数	10
7 入退所・入所経路の状況	11
8 令和元年度年間面会者人数一覧	12
相談課	
9-1 ケアカンファレンスの取り組み	13
9-2 入居者懇談会	14
介護課	
10-1 介護会議	16
10-2 2階フロア会議	21
10-3 3階フロア会議	24
看護課	
11 健康管理	29
(1) 苑内診察等の実施内容	29
(2) 月別受診実績	29
(3) 入院・退院の状況	31
(4) 入院期間調書	31
(5) 入院者数及び入院日数等の推移	31
リハビリテーション課	
12 リハビリテーション実績	33
栄養課	
13-1 栄養課(1)はじめに	37
13-2 食事懇談会	38
13-3 年間栄養摂取量	40
13-4 行事食の実施状況	41
13-5 選択食の実施状況	42
各委員会・会議報告	
14-1 事故苦情対策委員会	43
(1) 会議開催状況と主な検討事項	43

1 4 - 2 月別事故分析 . . . . .	4 6
1 4 - 3 事故(ヒヤリハットを含む)内容別年度比較 . . . . .	4 8
1 4 - 4 時間別事故パターン分析 . . . . .	4 8
1 5 身体拘束廃止委員会 . . . . .	4 9
1 6 衛生委員会 . . . . .	5 0
1 7 サービスマナー委員会 . . . . .	5 3
1 8 入所検討委員会 . . . . .	5 4
1 9 口腔ケア委員会 . . . . .	5 6
2 0 安全衛生委員会 . . . . .	5 8
2 1 感染症対策委員会 . . . . .	6 1
2 2 食事委員会 . . . . .	6 4
2 3 排泄対策委員会 . . . . .	6 5
2 4 防災委員会 . . . . .	6 7
2 5 褥瘡予防委員会 . . . . .	6 8
2 6 入浴委員会 . . . . .	7 0
2 7 マニュアル策定委員会 . . . . .	7 1
2 8 行事委員会 . . . . .	7 2
2 9 連絡調整会議 . . . . .	7 5
3 0 厨房会議 . . . . .	7 8

#### クラブ・レクリエーション活動報告

3 1 えがおくらぶ . . . . .	7 9
3 2 音楽療法 . . . . .	8 2
3 3 料理クラブ . . . . .	8 4
3 4 あみものクラブ . . . . .	8 5
3 5 - 1 2 階手工芸クラブ . . . . .	8 6
3 5 - 2 3 階手工芸クラブ . . . . .	8 8
3 6 華道クラブ . . . . .	8 9
3 7 朗読ボランティア . . . . .	9 1
3 8 アニマルセラピー . . . . .	9 2
3 9 ホーム喫茶 . . . . .	9 6

#### ボランティア活動報告

4 0 ボランティア・地域貢献担当活動報告 . . . . .	9 8
---------------------------------	-----

研修報告

4 1	研修実施報告(内部研修) . . . . .	1 0 4
	研修実施報告(外部研修) . . . . .	1 0 5

## ・はじめに

令和2年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、第1回理事会、定時評議員会を书面議決としたことや、マスク、消毒、感染予防用品等が不足し、厚生労働省、東京都、青梅市より支給されました。

8月以降より、徐々にではありますが、購入ができるようになりました。しかし衛生用品の高騰により器具消耗品費支出が大幅に伸びました。これに対し東京都、青梅市からの助成金が交付されたことより補完することができました。

令和2年度事業は新型コロナウイルス感染症対策事業として「予防対策」と「クラスター発生時対策」の仕組みづくりのため、環境、備品整備を進めました。

その一つが、ご家族が直接面会できない為、ホームページで使用しているソフトに追加機能を加え、オンライン面会の仕組みを構築しました。

また、嘱託医の勤務する医療機関でクラスターが発生した場合や、嘱託医が感染した場合、施設内でクラスターが発生した場合等、定時診察が困難となり、定時薬等の処方が困難となるために「オンライン診療」の仕組みと「電子カルテの導入」、「処方箋」の電子化を行いました。

このシステムにより、嘱託医の勤務する医療機関においてクラスターが発生したため、感染予防のため、施設へ出勤せず、勤務する医療機関よりオンライン診察を行い、定時薬の処方を行うことができました。

また、ご家族のオンライン面会や、リモート施設見学のためにタブレットを導入しました。タブレットはこのほか介護記録端末として使用することや、産業医参加のリモート会議、職場巡視、施設内会議での使用、傾聴ボランティアのリモート使用等多目的に使用しています。

その他施設内でクラスターが発生した場合や施設内会議や研修での密を避ける為に3階会議室の改修を行い、感染者対応職員との動線を分ける環境整備を行いました。

本年度は全ての研修がオンライン配信となり、施設で視聴研修となったため、1階と3階で分かれて視聴研修を行いました。

令和2年度は度重なる緊急事態宣言や厚生労働省、東京都より感染予防対策から、ご家族等の面会を控えて頂く対策を行うよう通知があったため、1年を通じて面会制限を行い、冬の寒い時期は完全に面会を止め、その他季節は窓越し面会とオンライン面会としましたので、ご家族等皆様に大変ご不便をおかけしました。

また、入所事業では老人保健施設、病院等感染対策や健康管理が行われている先からの入所に限定したことや、短期入所事業では新規利用者からの申し込みを控え、既存利用者のみとしたため、稼働率の低下がありました。

地域交流活動では合同行事も中止し、地域の諸行事も全て中止としたため、地域交流事業が滞った状態となりましたが、年3回の地域グラウンドでの草取りで情報交換し、連携の確認を行って参りました。

近隣施設、病院での感染情報や職員家族関係の感染情報が頻回にある中、令和3年3月より職員全員のPCR検査を2週間に一度行い、発熱等の場合も検査を実施し、利用者、職員に感染者が無い状態が続いていますことは、施設職員として自粛生活を継続した成果と言えます。

○. 法人が実施する事業及び根拠法令

(1) 当法人が実施する社会福祉事業区分における拠点区分と当該拠点区分におけるサービス区分及び根拠法令等の内容

① 特別養護老人ホームやすらぎの家拠点区分

社会福祉法(昭和26年法律第45号、以下「社会福祉法」という。)第2条第2項第3号(第1種社会福祉事業)に規程する特別養護老人ホームやすらぎの家を中心に以下のサービス区分を含む拠点区分としている。

イ 法人本部サービス区分

理事会の運営及び監事の業務活動による経費、法人役員の報酬等その他の拠点区分に属さない経費及び収益について区分経理するために本部サービス区分を設けている。

ロ 特別養護老人ホーム やすらぎの家サービス区分

社会福祉法第2条第2項第3号(第1種社会福祉事業)に規定する特別養護老人ホーム

ハ 短期入所生活介護事業 やすらぎの家サービス区分

社会福祉法第2条第3項第4号(第2種社会福祉事業)に規定する老人短期入所事業〔介護保険法(平成9年法律第123号、以下「介護保険法」という)第8条第9項に規定する短期入所生活介護事業〕及びこれと一体的に行われている介護保険法第8条の2第7項に規定する介護予防サービス

## 1. 法人関係会議開催状況

令和2年度理事会は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、第1回理事会を書面議決とし、定時評議員会も書面議決としました。第2回及び3回理事会は招集し決議しました。

5月に実施しました決算前の監事監査では監事監査チェックリストに基づき監事二人による会計と運営部門についてチェックを行って頂きました。

令和3年3月23日に所轄庁である青梅市法人監査係による法人監査が行われました。感染予防対策のため、事前に関係資料を市役所に持参し、事前確認を行い、監査当日のヒアリング実施時間を短くし行いました。

### 理事会・開催状況

開催日	開催回	出席理事数 出席監事数	主 な 議 案	備考
令和2年 5月21日	—	出席理事 3名 出席監事 2名	・令和元年度決算書類及び事業報告書監事監査	
令和2年 5月30日 (書面議決 かあったと みなされる 日)	第1回	書面議決 理事6名	新型コロナウイルス感染予防の為、書面議決 ・令和元年度事業報告書報告書について ・「決算報告」及び「監事監査報告」及び「社会福祉充実残額報告」について ・評議員会に提出する議案の決議について	承認 承認 承認 承認
令和2年 12月10日	第2回	出席理事 6名 出席監事 2名	・理事長職務執行状況報告 ・令和2年度年収支予算書第1回補正予算について	承認 承認
令和3年 3月25日	第3回	出席理事 5名 欠席理事 1名 出席監事 2名	・令和2度 社会福祉法人吹上苑 特別養護老人ホームやすらぎの家第2回補正予算について ・令和3年度 社会福祉法人吹上苑 特別養護老人ホームやすらぎの家事業計画について ・令和3年度 社会福祉法人吹上苑 特別養護老人ホームやすらぎの家当初(収支)予算について	承認 承認 承認

評議員会

開催日	開催回	書面議決数	主 な 審 議 議 案	備考
令和2年 6月16日 (書面議決 があったと みなされる 日)	第1回	書面議決 評議員数 7名	・令和元年度計算書類及び財産目録の承認につ いて	承認

苦情対応第三者委員会

開催日	開催回	出席数	主 な 審 議 事 項
—	—	—	令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防及び 緊急事態宣言期間中のため実施せず

法人監査

監査実施日	出席理事 及び職員	監査内容
令和3年 3月23日	理事長 施設長 副施設長 事務長 経理担当 庶務担当	社会福祉法人吹上苑 ・法人運営について ・法人会計について

## 令和2年度 施設別利用状況

### 1. 特別養護老人ホームの利用状況〔定員：100床〕

令和3年3月31日現在

	月末現在 在籍者数	定員100名の 延人(日)数	実入所延人員 (利用延日数)	利用率(%)		入院の状況(人)			
				当月利用率	平均利用率	延人員	延日数	換算	通算平均人員
4月	96人	3,000 /	2,869/	95.6%		3	11	0.4	
5月	97人	3,100 / 6,100	2,984/ 5,853	96.3%	96.0%	4	43	1.4	0.89
6月	97人	3,000 / 9,100	2,934/ 8,787	97.8%	96.6%	2	21	0.7	0.82
7月	98人	3,100 / 12,200	3,015/11,802	97.3%	96.7%	3	36	1.2	0.91
8月	97人	3,100 / 15,300	3,019/14,821	97.4%	96.9%	6	54	1.7	1.08
9月	96人	3,000 / 18,300	2,906/17,727	96.9%	96.9%	5	97	3.2	1.43
10月	99人	3,100 / 21,400	3,063/20,790	98.8%	97.1%	3	87	2.8	1.63
11月	97人	3,000 / 24,400	2,947/23,727	98.2%	97.3%	4	73	2.4	1.73
12月	97人	3,100 / 27,500	2,930/26,657	94.5%	96.9%	4	47	1.5	1.76
1月	97人	3,100 / 30,600	2,953/29,610	95.3%	96.8%	3	48	1.5	1.75
2月	96人	2,800 / 33,500	2,707/32,317	96.7%	96.5%	0	0	0.0	1.75
3月	97人	3,100 / 36,600	2959 /35,276	95.5%	96.4%	0	0	0.0	1.41
計	1,164人		人						
平均値	97人		人		%				
前年度 平均値	98.3人		94.8人		%				人

### 2. ショートステイの利用状況〔空床3床〕

令和3年3月31日現在

	利用 延実人員	定員3名の 延人(日)数	利用延人(日)数	利用率			施設全体平均利用人数 (特養+ショート)
				当月	通算平均	青梅市通算	
4月	5人	90 /	60 /	66.7		100.0%	97.6
5月	7人	93 / 183	55 / 115	59.1	62.8	90.0%	98.0
6月	4人	90 / 273	43 / 158	47.8	57.9	100.0%	99.2
7月	5人	93 / 366	47 / 205	50.5	56.0	100.0%	98.8
8月	8人	93 / 459	58 / 263	62.4	57.3	100.0%	99.3
9月	8人	90 / 549	50 / 313	55.6	57.0	100.0%	98.5
10月	8人	93 / 642	59 / 372	63.4	57.9	90.3%	100.7
11月	8人	90 / 732	53/ 425	58.9	58.1	86.7%	100.0
12月	7人	93 / 825	74 / 499	75.6	60.5	77.0%	96.9
1月	6人	93 / 918	63 / 562	67.8	61.2	76.2%	97.3
2月	7人	84 / 1002	55 / 617	65.5	61.6	72.7%	98.6
3月	7人	93 / 1095	64 / 681	68.9	62.2	85.7%	97.5
計	80人	1095日	681人		.%		
前年度	101人		642人				

※ 年間1日平均利用者数(特養+ショート) → 95.4人(前年度平均 98.2人)

### 3. 利用者の状況

#### 1 月別・保険者別利用者の在籍状況

令和3年3月末現在の保険者数は、下表のとおり 18保険者となっています。令和2年度保険者総数は22保険者でした。

定員100名に対する月末の平均在籍者（入院者を含）97名は、前年度実績の月平均98.4名と比較し在籍者が若干減少しています。

保険者別では青梅市が利用率が一番高い理由は地元であると同時にショートステイを利用しながら在宅でのケアを行い、徐々に認知症等の進行により、在宅ケアが困難となり入所となるケースが多いからです。

また、国立市、調布市、府中市、羽村市の契約ベッドについては各保険者や居宅支援事業者からの申し込み依頼については優先的に入所を行い、出来る限り早期の入所に努めました。

また、事前面接を実施し入所までになかなかつながらないケースもあり、それぞれの保険者や包括、居宅サービス事業所等との情報の交換も積極的に行い、入所につながる努めてまいりました。最近では女性待機者より男性待機者や胃瘻、透析、鼻腔栄養等といった医療依存度の高い入所希望者が増加しています。今年度は世界中でコロナウイルスの感染が広がりがあり、受け入れ態勢についても、感染予防の徹底や受け入れ時のPCR検査等を実施し施設内での感染予防対策も同時に行ってきました。

待機者が減少している中で、老健や医療機関との連携を図りながら入所者の受け入れをスムーズに行える様連携も図っております。

对待機者の動向を見ながら入所調整を引き続き行って行きたいと思っております。

単位：人 各月：月末現在

月 保険者名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月延人員	利用率
青梅市	30	31	31	30	30	29	30	29	30	30	30	30	360	30.0 %
府中市	13	13	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	139	11.6 %
調布市	19	19	19	19	19	19	20	19	18	18	18	18	225	18.8 %
国立市	14	14	14	15	15	15	15	15	15	14	14	14	174	14.5 %
羽村市	6	6	7	8	8	8	8	8	8	9	8	8	92	7.7 %
杉並区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0 %

愛川市	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3	%
三鷹市	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.3	%
東村山市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
西東京市	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	26	2.2	%
武蔵村山市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10	0.8	%
福生市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
小平市	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	15	1.3	%
あきる野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
小金井市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
瑞穂町	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7	0.6	%
八王子市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0	%
品川区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1	%
飯能市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.2	%
武蔵野市	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6	0.5	%
足立区	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7	0.6	%
入間市	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	21	1.8	%
合計	96	97	97	98	97	96	99	97	97	97	96	97	1,164	97.0	%

#### 4 利用者の男女別年齢構成

R2.3.31 現在

区 分	性 別		計
	女 性	男 性	
64 歳 以下	1 人	0 人	1 人
65 歳 ～ 69 歳	0 人	1 人	1 人
70 歳 ～ 74 歳	2 人	5 人	7 人
75 歳 ～ 79 歳	5 人	6 人	11 人
80 歳 ～ 84 歳	16 人	10 人	26 人
85 歳 ～ 89 歳	19 人	4 人	23 人
90 歳 ～ 94 歳	21 人	3 人	24 人
95 歳 ～ 99 歳	3 人	0 人	3 人
100 歳 以上	1 人	0 人	1 人
合 計	68 人	29 人	97 人

#### [参 考]

R2.3.31 現在

区分	性別		
	女 性	男 性	全 体
	歳	歳	歳
最高年齢	105	94	105
最少年齢	63	69	63
平均年齢	86.5	80.9	84.8
前年度 平 均	87.7	82.1	86.2

令和2年3月末日現在における利用者の男女別年齢構成は、上記のとおりです。

平均年齢は、男性80.9歳に対し、女性は86.5歳となっていますが、平均年齢は前年度に比べ女性で1.2若返り男性でも1.1歳若返り全体では1.4歳年齢が下がっています。

また、男女の平均年齢差も前年度と同様に5本年度も5.6歳となっており、男女差の変化はありません。

80歳以上の利用者は77名で全体に占める割合は79.4%で、90歳以上では28名28.9%と昨年より若干上昇しています。

95歳以上では、男性の利用者0名に対し女性利用者は4名となっており、高齢率は男女の差は10歳ほどとなっています。

5. 入所申込み 申請書件数

月別 保険者	青梅市	府中市	調布市	国立市	羽村市	他市	計
4月	2	1	0	0	0	0	3
5月	1	1	1	0	1	3	7
6月	3	2	0	1	0	3	9
7月	2	0	0	0	0	3	5
8月	2	1	2	0	0	1	6
9月	3	2	0	0	0	3	8
10月	3	1	2	0	0	0	6
11月	0	0	0	0	1	5	6
12月	1	1	0	1	0	3	6
1月	6	0	1	0	0	3	10
2月	1	0	0	0	0	3	4
3月	1	3	4	0	0	5	13
計	25	12	10	2	2	32	83

6. 施設見学 組数、事前面接 件数

	施設見学 組数	事前面接 件数
4 月	1	2
5 月	1	3
6 月	3	0
7 月	1	5
8 月	3	4
9 月	1	3
10 月	3	0
11 月	2	1
12 月	2	3
1 月	2	2
2 月	1	3
3 月	4	1
計	24	27

※計の所は数式入っています。

7. 入退所・入所経路の状況

R3.3.31 現在

区分 月	入 所 経 路			退 所 理 由			比較	月末の在籍者数		
	自宅等	病院等	計	死亡	長期入院等	計		男	女	計
4	0	0 (老健 1)	1	1	0	1	0	26	70	96
5	0	1 (老健 1)	2	1	0	1	1	27	70	97
6	0	0 (老健 1)	1	1	0	1	0	27	70	97
7	1 (特養 1)	0 (老健 1)	3	2	0	2	1	26	72	98
8	0	0 (老健 1)	1	2	0	2	▲ 1	26	71	97
9	0	2 (老健 2)	4	5	0	5	▲ 1	26	70	96
10	0 (特養 1)	1 (老健 1)	3	0	0	0	3	28	71	99
11	0 (特養 1)	0 (老健 0)	1	2	1	3	▲ 2	27	70	97
12	0 (特養 1)	0 (老健 1)	2	1	1	2	0	29	68	97
1	0	2 (老健 0)	2	2	0	2	0	29	68	97
2	0	1 (老健 1)	2	3	0	3	▲ 1	28	68	96
3	0	1 (老健 0)	1	0	0	0	1	29	68	97
計	1 (特養 4)	8 (老健 10)	23	20	2	22	1			
比率	21.7%	78.2%	100%	90.9%	9.1%	100%				

令和2年度の1年間の新規入所者23名の入所前の状況は上記のとおりです。

経路としては自宅から1名、他特養から4名で22%、病院から8名、介護老人保健施設からは10名で78%となっています。

また、退所者の総数は22名ですがそのうち1名、在宅復帰をされた方もいました。死亡による退所については多くの方が終末期の看取りケアにより、施設内で安らかな終末を迎えられています。

## 8. 令和2年度 年間面会者数一覧

令和2年度の各月の面会者数は以下のとおりとなっております。令和元年からの新型コロナウイルス感染症により、面会の自粛をお願いしました。

令和2年1月は感染が再拡大となり、厚生労働省、東京都福祉保健局より感染予防対策から面会を控えるよう通知がありました。更に1都三県に緊急事態宣言が発令され、令和2年3月21日に緊急事態宣言解除となりましたが、年間を通じ面会自粛を行い、オンライン面会、窓越し面会のため、面会者数は少なかった。

(月別)

	組数	大人	中学生	小学生	幼児	乳幼児	人数合計
令和2年4月	3	4	0	0	0	0	4
令和2年5月	31	79	0	1	1	0	81
令和2年6月	74	135	0	3	2	0	140
令和2年7月	43	80	0	1	3	1	85
令和2年8月	113	129	1	5	2	2	139
令和2年9月	94	165	0	0	1	0	166
令和2年10月	86	136	1	1	1	0	139
令和2年11月	86	157	0	4	1	1	163
令和2年12月	49	95	2	3	0	0	100
令和3年1月	3	6	0	0	0	0	6
令和3年2月	13	13	0	0	0	0	13
令和3年3月	16	19	0	0	0	0	19
合計	611	1,018	4	18	11	4	1,055

## 9-1アカンファレンスの取組み

今年度はコロナウイルスが世界中で広がりを見せ、高齢者が感染すると重症化するとの情報があった事からカンファレンスの開催は行わず、また密になる事での感染拡大になってしまう等感染予防の観点からも書面にて施設内部での確認を行いました。

施設内利用者の個々の状態や希望に応じより充実した生活を送って頂く為、入所者はもちろんの事、ご家族にもご意見、ご要望等を事前に確認し確認した内容をケアプランに可能な限り反映できる事を目標とし、今年度も取り組んで参りました。

また、直接会えない分、ご家族の方が不安とならない様、適宜入所者の様子については電話や、園内の活動時の写真等でお知らせする事で、日々の様子がわかる様対応に努めて参りました。

今後はリモート等の電子機器を用いたカンファレンスを実施し少しでも、入所者、家族、職員との情報の共通と理解が深められる様個別支援を引き続き行ってゆきたいと思えます。

令和2年度の実績は、次のとおりです。（参加率 0% ） 【注】前年度89.4%

実施月	モニタリング	カンファ実施者	参加ご家族数	実施月	モニタリング	カンファ実施者	参加ご家族数
4月	13	17名	0 家族	10月	18	18名	0 家族
5月	19	14名	0 家族	11月	14	14名	0 家族
6月	15	20名	0 家族	12月	14	20名	0 家族
7月	13	14名	0 家族	1月	17	14名	0 家族
8月	12	22名	0 家族	2月	15	20名	0 家族
9月	18	15名	0 家族	3月	20	14名	0 家族
合 計				188件 202名 0 家族			

## 9-2 入居者懇談会

今年度も引き続き入所者と職員との懇談会を2か月毎の開催を実施しています。時間は14時～16時頃に実施し各階毎に30分ずつ分かれて開催しました。

今年度はコロナウイルス感染が世界中で猛威を振るった事もあり、今までは違う新たな生活スタイルでの生活の提案や感染症に関する案内やお願い、協力事項等を説明する事が多くありました。

そうした中で、懇談会の中で入所者の声を多く聞き、何を望んでいるのか、何をしたいと感じているのか、その事を限られた環境の中でどの様にしたら対応ができるのかを試行錯誤を行いました。可能な範囲で“今できる事”、希望に沿った対応を行う事で苑生活に潤いが生まれ生活が豊かとなる様今後も懇談会等を通して確認し対応を行ってゆきます。

また、社会情勢や苑からのお知らせ、行事の案内行う事で情報の共有や社会の中で生活をしているという実感して頂ける機会にもつながっています。

### 活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 4月8日(水) 13時50分～ 16時10分	2階:25名 3階:31名 計:56名	引き続き2か月に1回程度、入居者と職員との懇談会を開催してゆく事。 ○コロナウイルス関連の案内と施設で行っている感染予防対策と入所者の方に協力とお願い。 ○面会、行事、余暇活動の縮小化等の案内
令和2年 6月3日(水) 14時～15時15分	2階:23名 3階:30名 計:53名	○新しい生活様式の案内 ○コロナウイルス関連の案内と現状 ○ホーム喫茶のメニューについて入所者からの希望あり 果物全般、かき氷、アイス、ヨーグルト、ウナギのかば焼き等をメニューに入れて欲しいとの希望があり検討を行ってゆく事を説明
令和2年 8月5日(水) 14時～15時	2階:29名 3階:25名 計:54名	○6月に上がった希望や要望等に対してホーム喫茶等で少しずつ取り入れている事を報告。 ○新入職員、新規入居者の紹介を行っている。 ○面会方法の変更の案内 ○コロナウイルス関連の案内と現状 ○職員からは冷房が入る為寝具や上着などで温度調整を行って欲しい事を伝達。

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 10月7日(水) 14時～15時	2階:22名 3階:29名 計:51名	○8月の時に聞かれた希望や要望に対し回答している。 ○新規入居者の紹介 ○インフルエンザ予防接種の時期となった事の案内 ○これから寒い時期に入る為手洗い、うがいと衣服の調節の依頼 ○第三者評価機関による入所者アンケートの協力依頼 ○外注食の対応の実施予定
令和2年 12月2日(水) 14時～15時15分	2階:29名 3階:31名 計:60名	10月に上がった希望や要望に対しての回答を実施。 新規入居者の紹介 今月、来月の予定 ○新しい生活様式の案内 ○コロナウイルス関連の案内と現状と協力依頼 ○お楽しみ食(ピザの提供)とクリスマス会の案内 ○おでんや肉が食べたいとの意見があり、給食懇談会の中で検討を依頼
令和3年 1月6日(水) 14時～15時30分	2階:25名 3階:21名 計:46名	臨時の入居者懇談会を開催 ○新年のあいさつ ○東京都において、コロナウイルスが年末年始にかけて感染者が増大しており、2回目の緊急事態宣言が1/8に発令になるに伴い、苑での対応について ○入所者より感染者が出た場合、この施設はどうなるのかと質問がある。 →隔離する居室を作りケアに当たる事を説明している。
令和3年 2月10日(金) 14時～15時	2階:29名 3階:25名 計:54名	○新規入居者の紹介 ○今月、来月の案内 ○緊急事態宣言中の中でできる事を入所者に説明と協力依頼 ○コロナウイルス関連の件

## 10-1 介護会議

介護課役職会議です。

新型コロナウイルスが流行される中、ソーシャルディスタンスを保ち、会議時間も配慮しました。

事前（前月末）に、議題をまとめ、各フロアからの意見、各委員会からの意見を把握し、ご利用者サービスの向上に展開していけるように話し合いを行いました。

介護会議としては、月に1回の開催になりますが、状況に合わせての話し合いも行いました。感染症に関する内容も多くあり、業務内容を変更し、新たな認識を持ってきました。これは、令和3年度にも繋がっていくこととなります。

他部署との調整・連携が必要とされる内容については、連絡調整会議の中で助言をいただき、決定もしてきました。又、ご利用者サービスだけでなく、介護課の一人ひとりがチームワークを大切にしながら仕事をするために、どのような指導、教育が必要であるかも考え話し合いもしてきました。

令和2年度は、介護課の事業計画として、13項目を上げました。

項目数としては多かったのかもしれませんが、内容としては基本的な事、意識して欲しいことを計画としました。

前向きに取り組めていたのではないかと思います。又、計画にはなかったのですが、個人面談を行いました。日々、どのような気持ちで仕事に向き合っているのかを役職間で共有することが出来たと思います。

介護課は、職員人数が多くチームワークが必要とされる部署です。その為、どのようにチーム作りをしていくべきなのかを考えさせられます。そして、介護会議は役職がどうあるべきかも考えさせられる会議でもあります。

令和3年度も苑の理念を理解し、役職としての自覚と責任感を持ち、会議を行っていきます。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年 4月2日	7名	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員フロア異動について</li><li>・排泄介助について</li><li>・理容の対応について</li><li>・ホーム喫茶について</li><li>・クラブ活動について</li><li>・眠りスキャンについて</li><li>・リネン交換について</li><li>・ヒヤリハット・事故報告について</li><li>・新入所のご利用者について</li><li>・フロア会議時の見守りについて</li></ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事予定について</li> <li>・ 各フロアーより</li> </ul>
令和2年 5月7日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン面接について</li> <li>・ ケアカンファレンスについて</li> <li>・ 介護会議について</li> <li>・ 排泄介助について</li> <li>・ コロナウイルス感染症予防について・ 防護服訓練について</li> <li>・ ケースファイルについて</li> <li>・ 早番の入浴介助について</li> <li>・ 布団の納入について</li> <li>・ 夏祭りについて</li> <li>・ 職員面談について</li> <li>・ 行事予定について</li> <li>・ 各フロアーより</li> </ul>
令和2年 6月4日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員フロアー異動について</li> <li>・ 携帯ストラップについて</li> <li>・ 職員面談について</li> <li>・ ご利用者の貴重品について</li> <li>・ リネン交換について</li> <li>・ リモートレクリエーションについて</li> <li>・ 眠りスキヤンの活用について</li> <li>・ 面会について</li> <li>・ 職員連携について</li> <li>・ ヒヤリハットの用紙の変更の対応について</li> <li>・ 衣類販売について</li> <li>・ 突発休みのフォローについて</li> <li>・ 言葉遣いについて</li> <li>・ ご利用者懇談会について</li> <li>・ マニュアル委員会より</li> <li>・ 行事予定について</li> <li>・ 各フロアーより</li> </ul>
令和2年 7月2日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日用品について</li> <li>・ ショートステイの方の衣類について</li> <li>・ 換気について</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日のお祝いの方について</li> <li>・理美容表の方について</li> <li>・体位変換表の方について</li> <li>・センサーの見直しの方について</li> <li>・委員化の確認事項の方について</li> <li>・フロアー会議の実施方法の方について</li> <li>・夜勤日誌の方について</li> <li>・申し送りの簡素化の方について</li> <li>・ウォーターサーバーの設置の方について</li> <li>・行事予定の方について</li> <li>・各フロアーより</li> </ul>
令和2年 8月6日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助の人数の方について</li> <li>・夜間巡視の方について</li> <li>・眠りスキヤンの活用の方について</li> <li>・ストロー使用のご利用者の方について</li> <li>・業務マニュアルの方について</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防マニュアルの方について</li> <li>・介護職員の募集の方について</li> <li>・静養室の物品の管理の方について</li> <li>・職員面談進捗状況の方について</li> <li>・冷却マスクの配布の方について</li> <li>・行事予定の方について</li> <li>・各フロアーより</li> </ul>
令和2年 9月3日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアー会議の考え方、あり方の方について</li> <li>・職員研修の実施方法の方について</li> <li>・ヒヤリハットの対応の方について</li> <li>・ユニフォームの方について</li> <li>・防護服着脱訓練の方について</li> <li>・職員面談終了の振り返りの方について</li> <li>・排泄物の量の考え方の方について</li> <li>・申し送りの方について</li> <li>・検食簿の方について</li> <li>・福祉用具の管理方法の方について</li> <li>・行事予定の方について</li> <li>・各フロアーより</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年 10月1日	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝巻の保管場所について</li> <li>・新規ご利用者の名札について</li> <li>・ユニフォームについて</li> <li>・余暇活動の誘導方法について</li> <li>・映画観賞会について</li> <li>・苑内研修について</li> <li>・マスクについて</li> <li>・入所時の契約書について</li> <li>・ご利用者のインフルエンザ予防接種について</li> <li>・行事予定について</li> <li>・各フロアーより</li> </ul>
令和2年 11月5日	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ課より</li> <li>・理美容の対応について</li> <li>・ほのぼのネクストへの設定について</li> <li>・寝巻にについて</li> <li>・会議報告書について</li> <li>・次年度について</li> <li>・新規入所について</li> <li>・外注食について</li> <li>・研修について</li> <li>・年末の入浴について</li> <li>・行事予定について</li> <li>・各フロアーより</li> </ul>
令和2年 12月3日	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ課より…スライディングボード、ミラクルグリップについて</li> <li>・栄養課より…ピザの提供について、介助スプーンについて</li> <li>・ホーム喫茶の対応について</li> <li>・事業計画の振り返りにについて</li> <li>・行事予定について</li> <li>・各フロアーより</li> </ul>
令和3年 1月7日	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCPについて</li> <li>・理美容の感染症対応について</li> <li>・夜勤者の申し送りにについて</li> <li>・面会時間について</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足元灯の設置について</li> <li>・ 超過勤務の記入方法について</li> <li>・ 配膳車について</li> <li>・ ショートステイの方用のテレビについて</li> <li>・ 業務マニュアルについて</li> <li>・ 業務マニュアル見直しについて</li> <li>・ 令和3年度の担当について</li> <li>・ 口腔委員会について</li> <li>・ 行事予定について</li> <li>・ 各フロアーより</li> </ul>
令和3年 2月4日	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申し送りについて</li> <li>・ 新規ご利用者、ショートご利用者の入所、退所者時の眠りスキャン、ナースコールの設定について</li> <li>・ ケアカンファレンスについて</li> <li>・ 一般浴、機械浴の対応について</li> <li>・ 氷枕の使用について</li> <li>・ 来年度の手工芸クラブについて</li> <li>・ 行事予定について</li> <li>・ 各フロアーより</li> </ul>
令和3年 3月4日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夕礼について</li> <li>・ サイボウズ（業務支援ソフト）について</li> <li>・ アイパットの活用について</li> <li>・ 来年度の事業計画について</li> <li>・ 来年度の委員会、レクリエーションについて</li> <li>・ 眠りスキャンの設定について</li> <li>・ 居室移動の書類について</li> <li>・ 夜勤の責任者（リーダー）の考え方について</li> <li>・ モニタリング、カンファレンスの入力について</li> <li>・ 精神状況観察者の経過入力について</li> <li>・ 看護課より...ご利用者の薬情について</li> <li>・ オンラインのお話ボランティアについて</li> <li>・ 朝の放送について</li> <li>・ 行事予定について</li> <li>・ 各フロアーより</li> </ul>

## 10-2 2階フロア会議

令和2年度は毎月2Fフロア会議を開催する事ができましたが、新型コロナウイルスの流行もあり4～6月は2Fフロア主任・フロア副主任が2Fフロア職員より意見を募り少人数での開催としました。

ご利用者への対応や業務についての課題を挙げ、会議を通して問題を解決していくことでサービスの充実へと結びつくよう努めていきました。

職員に対して事前に意見を求め、議題として検討を行いました。決定した内容については職員に周知して頂き同じ意識で取り組んで頂き、それが個々の仕事へのやりがいと、ご利用者へのより良いサービスに繋がる様に心掛けました。

令和3年度は毎月の会議の開催を継続し、限られた時間の中でも効率よく充実した会議を行っていきたいと考えております。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年 4月15日(水)	2人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・アンケート集計結果</li> <li>・理美容の時、機械浴と重なる為朝の臥床どうするか。</li> <li>・フロア移動について</li> <li>・遅延番の必要について</li> </ul>
令和2年 5月20日(水)	3人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・感染者対応の職員選出</li> <li>・理美容の時、機械浴と重なる為朝の臥床どうするか。</li> <li>・フロア移動について</li> <li>・防水シーツの件</li> <li>・ショートステイご利用者 荷物確認について</li> <li>・面談の件</li> <li>・新規入所者の件</li> <li>・尿シート</li> </ul>
令和2年 6月15日(水)	3人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・誕生日のお祝いについて</li> </ul>
令和2年 7月15日(水)	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・リネン袋、洗濯袋について。</li> <li>・ドライタオル、パットの袋の再利用について。</li> <li>・各オムツ交換終了時、清拭・パットの補充について。</li> <li>・PHSについて。</li> <li>・ヒヤリハット、事故報告書の提出者について。</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯ブラシ月 1 回の交換について。</li> <li>・ 体重測定の方法について。</li> <li>・ 防水シートを適用する方の選出について。</li> <li>・ オムツ対応の方について。</li> <li>・ 起床時のリハビリパンツへの履き替えについて。</li> </ul>
令和 2 年 8 月 19 日(水)	7 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・ 一般浴の男性の入浴順</li> <li>・ ヒヤリハットの原因と対策についての検討。</li> <li>・ 口腔ケア後の利用者様の待機場所について。</li> <li>・ 207 号室の利用者の口腔ケア後の待機位置について</li> <li>・ 夕食時に早配膳の利用者の食事が早く終わった際に臥床し排泄まで済ませている事がある件について</li> <li>・ 食後のトイレ誘導と臥床介助の優先順位について</li> <li>・ 夜間のオムツ交換時の対応について。</li> </ul>
令和 2 年 9 月 16 日 (水)	8 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・ ヒヤリハットの振り返り</li> <li>・ 職員の動き方について</li> <li>・ フロア会議について</li> </ul> ≪研修≫防災机上研修
令和 2 年 10 月 21 日(水)	5 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・ リハビリ課より福祉用具についての説明</li> <li>・ 機械浴の朝の臥床について</li> <li>・ ヒヤリハット。事故報告の振り返り</li> <li>・ 体重測定について</li> </ul>
令和 2 年 11 月 18 日 (水)	7 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・ 離床の対応について。</li> <li>・ トイレに設置するゴミ箱について。</li> <li>・ 臥床時のポジショニングについて。</li> <li>・ 職員の働き方について。</li> <li>・ 誕生日の件について。</li> <li>・ フロア清掃について。</li> <li>・ センサーの見直しについて。</li> <li>・ ヒヤリ・事故の振り返り。</li> </ul>
令和 2 年 12 月 9 日 (水)	7 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 月精神科ケース検討会議について。</li> <li>・ 職員の働き方について。</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーム喫茶について。</li> <li>・ヒヤリハット・事故報告の振り返り。</li> <li>・センサーの見直しについて。</li> <li>・リネンについて。</li> <li>・ご利用者の洗濯物について。</li> <li>・利用者対応について。</li> </ul>
令和3年 1月20日（水）	8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の精神科ケース検討会議について</li> <li>・感染症のBCPについて。</li> <li>・新入所・退所のマニュアル化について。</li> <li>・センサー使用者リストについて。</li> <li>・ヒヤリハット・事故報告の振り返り。</li> <li>・利用者のトイレ誘導について。</li> <li>・リネンについて。</li> <li>・施設設備の名称について。</li> <li>・接遇について。</li> <li>・誕生日のご利用者に対しての接し方について。</li> </ul>
令和3年 2月17日（水）	8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月の精神科ケース検討会議について。</li> <li>・職員の働き方について。</li> <li>・朝礼について。</li> <li>・ケアカンファレンスの新しい様式について。</li> <li>・入浴時の誘導について。</li> </ul>
令和3年 3月17日（水）	8人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の精神科ケース検討会議について。</li> <li>・サイボウズについての説明。</li> <li>・洗濯業者変更について。</li> <li>・衛生面について。</li> <li>・ご利用者のタオル個人購入について。</li> <li>・ご利用者が使用するエプロンの購入について。</li> <li>・新規入所時に用意する物品について。</li> </ul>

### 10-3 3階フロア会議

今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策の為、4・5・6月の会議は行わず、議題ノートに上がった議題を3階役職者にて話し合いを行い発信し、7月よりフロア会議を実施しました。

以前の実施方法では参加者が限定され、参加していない職員の意見の反映が難しい状況でした。その為事前に議題を募集し、その議題に対してレポートを提出していただき、レポートに書かれた意見をフロア全体に公表し、役職者で検討しました。その後フロア会議にて議論しました。この実施方法に変更した結果、職員一人一人の考え方が理解でき、より多くの意見が出ました。検討結果についてはフロア会議用のファイルを作成し、いつでも確認できるようにし、周知徹底しました。

来年度につきましても更なる利用者へのサービスの充実、働きやすい環境整備を目指し様々な議題を挙げ協議していきます。また検討ノートの活用と検討結果を周知徹底していきます。

#### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症を持った御利用者が入所した場合の対応について</li> <li>・5月精神科ケース会議対象御利用者について</li> <li>・リネン関係について</li> <li>・夕食後のトイレ誘導について</li> <li>・眠りスキャンのセンサーについて</li> <li>・職員フロア移動に伴う居室担当者の変更について</li> <li>・職員面談について</li> <li>・御利用者のお誕生日のお祝い方法について</li> <li>・ショートステイ御利用者の荷物チェックについて</li> <li>・理美容の誘導について</li> <li>・御利用者のケース記録について</li> <li>・委員会のあり方について</li> <li>・早番と夜勤者の動きについて</li> <li>・3階理事長室の使い方について</li> <li>・排泄用にビニールの使用について</li> </ul>
5月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月精神科ケース会議対象御利用者について</li> <li>・御利用者の歯ブラシについて</li> <li>・リネン交換後のセンサー・ベッドの位置・サイドレール等の確認について</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・御利用者の夜間の排泄介助について</li> <li>・御利用者のお誕生日のお祝いについて</li> <li>・ショートステイ御利用者の持ち物の確認方法について</li> <li>・ヒヤリハット、事故報告について</li> <li>・発熱時の連絡について</li> <li>・御利用者の所持品紛失について</li> <li>・早早番の業務について</li> <li>・リーダー業務の流れについて</li> <li>・夕方の離床時間について</li> <li>・御利用者の名前の無い衣類について</li> <li>・床頭台の整理整頓について</li> <li>・汚染リネンの出し方について</li> <li>・夏祭りについて</li> </ul>
6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚物室の棚の鍵について</li> <li>・7月の精神科ケース会議対象御利用者について</li> <li>・早早番の業務についての振り返り</li> <li>・夏祭りの進行状況について</li> <li>・東京都知事選挙の実施方法について</li> <li>・特例ボランティアについて</li> <li>・7月からのフロアー会議について</li> <li>・衛生委員会の発信事項について確認</li> </ul>
7月22日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早早番、リーダーの動きについて</li> <li>・朝食後の西側食堂口の腔ケアについて</li> <li>・臥床後ベッドの高さについて</li> <li>・朝食後、昼食後のトイレ誘導について（振り返り）</li> <li>・ヒヤリハットについて</li> <li>・8月精神科ケース会議対象御利用者について</li> <li>・センサー、ベッドの見直しについて</li> <li>・サイドレールの位置について</li> <li>・眠りスキャンコードの断線予防について</li> <li>・換気について</li> <li>・セブンイレブン売店について</li> <li>・栄養ケアの実施時間について</li> <li>・サービスマナーについてのアンケート結果について</li> <li>・朝食前の夜勤者の動きについて</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
8月26日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者のオムツのサイズについて</li> <li>・布オムツの洗濯方法について</li> <li>・食後のトイレ誘導について（振り返り）</li> <li>・6時排泄介助に入る御利用者について</li> <li>・夜間トイレ希望者の入力方法について</li> <li>・ベッド本体、ベッドマットの見直しについて</li> <li>・車椅子座面マットの確認について</li> <li>・口腔ケア委員会より</li> <li>・9月精神科ケース会議対象御利用者について</li> <li>・早早番の排泄入力について</li> <li>・ベッド下げ忘れ防止について</li> <li>・入浴時のマウスシールド使用について</li> <li>・感染症の御利用者の口腔ケアグッズ管理について</li> <li>・飲水用、口腔用のコップ消毒について</li> </ul>
9月23日	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲水用、口腔用コップ消毒について（振り返り）</li> <li>・昼礼について</li> <li>・苑洗濯する御利用者の見直しについて</li> <li>・ショートステイ入退所者の気遣いについて</li> <li>・遅番のミーティングについて</li> <li>・10月精神科ケース会議対象御利用者について</li> <li>・使用していない義歯について</li> <li>・ご利用者家族からの苦情について</li> <li>・ボランティア活動について</li> <li>・ご利用者の面会について</li> <li>・ヒヤリハットの確認について</li> </ul>
10月28日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月精神科ケース会議対象御利用者について</li> <li>・ご利用者の収集について</li> <li>・ご利用者のパジャマについて</li> <li>・ショートステイご利用者の退所後のリネン交換について</li> <li>・大掃除について</li> <li>・各委員会の発信事項について</li> <li>・新規入所御利用者に施設での生活の流れの説明について</li> <li>・換気の実施状況について</li> <li>・ほのぼのへの水分入力について</li> <li>・整容時に使用するヘアブラシについて</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規特養入所者の排便確認設定について</li> <li>・各委員会の発信事項について</li> </ul>
11月25日	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人用クシの紛失防止について</li> <li>・12月精神科ケース会議対象ご利用者について</li> <li>・ターミナルの方の口腔ケアについて</li> <li>・食後の口腔ケア後の見守りについて</li> <li>・布オムツの乾燥方法について</li> <li>・ベッド周囲のコード類について</li> <li>・入浴時に使用しているクッションの乾燥方法について</li> <li>・センサーの見直しについて</li> <li>・車椅子の見直しについて</li> <li>・大掃除の進行状況について</li> <li>・夕食後のトイレ誘導について</li> </ul>
12月16日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月精神科ケース会議対象ご利用者について</li> <li>・ご利用者の掲示物を剥がしてしまう対応について</li> <li>・ご利用者の入浴時の見守りについて</li> <li>・夕食後のトイレ誘導について（振り返り）</li> <li>・センサー見直しについて</li> <li>・食事摂取がゆっくりなご利用者の対応について</li> <li>・観察等によりケース入力が必要なご利用者について</li> <li>・ヒヤリハットのケース入力について</li> <li>・入浴前の検温について</li> </ul>
令和3年 1月27日	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室での整容について（振り返り）</li> <li>・ショートステイご利用者の荷物について</li> <li>・朝食のお茶入れについて</li> <li>・2月精神科ケース会議対象ご利用者について</li> <li>・ご利用者のヒヤリ、事故の今後の対応について</li> <li>・日勤リーダーの午後の排泄について</li> <li>・ご利用者のオムツ交換の変更について</li> <li>・夕食後の排泄介助について</li> <li>・3階女性の入浴日の朝の排泄について</li> <li>・介護課とリハビリ課との連携について</li> <li>・足元灯が必要なご利用者について</li> <li>・ご利用者のポータブルトイレ使用について</li> </ul>
2月24日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月精神科ケース会議対象御利用者について</li> </ul>

		・食事席変更について
開催日	出席人数	主な検討内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・10時水分時の寒天ゼリーについて</li> <li>・離臥床後のご利用者の待機場所について</li> <li>・午後入浴されるご利用者の臥床介助について</li> <li>・ご利用者のエプロンたたみについて</li> <li>・ワーカー室の掃除について</li> <li>・朝食後のご利用者の見守り、夜勤者の業務について</li> <li>・朝礼変更について</li> <li>・ご利用者の新聞広告について</li> </ul>
3月24日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月精神科ケース会議対象ご利用者について</li> <li>・ご利用者のトイレ誘導について</li> <li>・紙オムツ（MLサイズ）を使用するご利用者について</li> <li>・ご利用者の移乗介助について</li> </ul>

## 11. 健康管理

利用者の健康管理については、嘱託医による苑内診察をはじめ、苑内歯科診療、定期健康診断、苑外医療機関への受診等により万全を期しました。

診察日、苑内診察及び通院による受診等の実績は、次のとおりです。

### (1) 苑内診察等の実施内容

項目	実施日	対象者	内容
定期健康診断	年1回(9月)	利用者全員	採血・検尿・胸部X線・心電図等
	(夜勤を行う介護職員は9月と3月の年2回)	職員全員	指定検査項目・腰痛検査
苑内診察	毎週 月曜日と金曜日	利用者	診察・治療・血圧測定・その他
苑内歯科診察	毎週 木曜日 午前	利用者	歯科診察・口腔ケア指導・義歯調整
精神科医診察	第1・3水曜日 午後	利用者	認知症入居者の理解、対応方法
泌尿器科診察	第2・4木曜日 午前	利用者	泌尿器科診察・看取り対応
インフルエンザ予防接種	10月中旬～12月上旬	利用者・職員	インフルエンザ流行予防のため
肺炎球菌ワクチン接種	7月～9月中旬	利用者	肺炎予防、年齢対象の利用者

### (2) 月別受診実績

区分		月												計	備考
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
苑内受診	内科診察	199	160	196	185	206	174	200	230	184	155	193	223	2,305	
	歯科診療	18	9	30	24	14	32	56	34	54	31	38	41	381	
	精神科医	49	54	50	51	53	53	50	53	46	51	47	55	612	
	計	266	223	276	260	273	259	306	317	284	237	278	319	3,298	
苑外受診	内科	2	2	5		3	2		2	3	3	4	5	31	
	外科	3	3	1	7	1	2	4	2		1	5	5	34	
	整形外科	5	1	4	5	2	1		2	3			4	27	
	耳鼻咽喉科			1										1	
	眼科	1		1		1		1	2		1	3	2	12	
	皮膚科			1	2	3	2	1					1	12	
	婦人科												1	1	
	泌尿器科	13	11	13	11	18	26	23	27	31	31	28	35	267	訪問診察有
	精神科				1	1								2	
	神経科														
	歯科	28	7	36	41	36	39	35	34	24		15	10	305	訪問診察有
	その他	24	26	26	26	26	17	14	13	15	14	12	15	228	透析
計	342	273	364	353	363	348	384	399	360	287	345	402	4,216		

今年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大により、オンライン診療を導入しました。緊急事態宣言下でも産業医と連絡を密に取り、利用者、職員の健康管理を行う事が出来ました。また、通院が困難な状況となりつつあり、協力医療機関と連携を取り、施設内での酸素吸入、点滴を行い利用者様の苦痛の緩和に努めてきました。

職員においては感染持ち込みが起らないように、施設内でもPCR検査を行えるように準備してきました。また今年に入りましては定期的なPCR検査を行い感染予防に努めてきました。R3年も引き続き安心して生活出来るように健康管理に努めていきたいと思っております。

### (3) 入院・退院の状況

内容		月												計	平均
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
入 院	入院者数	5	4	2	3	6	5	3	4	4	3	0	0	39	3.25
	入院延日数	124	50	28	54	90	173	196	269	156	114	0	0	1254	104.5
	平均入院者数	4.1	1.6	0.9	1.7	2.9	5.7	6.3	9	5	3.6	0	0	40.8	3.4
退 院	退院者数	3	3	1	1	2	2	0	2	1	3	0	0	18	1.5
	退院者の入院延日数(日)	117	44	10	18	14	69	0	160	90	114	0	0	636	53
	1回当たり平均入院日数(日)	39	14	10	18	7	36	0	80	90	38	0	0	332	28

### (4) 入院期間調査

入院日数	件数	割合
～14日	6	31%
15日～29日	5	26%
30日～59日	4	21%
60日～89日	3	16%
90日以上	1	6%
計	19	100%

### (5) 入院者数及び入院延日数等の推移

	月延入院人員	月平均人員	入院延日数	実人員換算	前年度比較	
					日数	実人員
H27年度	46	2.3	817	2.2人		
H28年度	55	2.3	846	2.5人	29	0.3人
H29年度	49	4.1	1131	3.1人	285	0.6人
H30年度	61	5.3	1876	5.1人	745	2人
R1年度	47	3.9	1151	3.2人	-725	-1.9人
R2年度	39	3.6	1254	3.5	103	0.3人

令和2年度の利用者の入退院状況は上記のとおりです。

入院者の年間延入院日数は1254日となっており、入院者数(延)は前年より8名減少、また入院延日数は103日増加しています。これは介護度が上がり重度化したり、また急変のリスクが高く入院加療、長期療養を希望する利用者(家族)が増えている事や、機能低下による誤嚥性肺炎や既往症による再発の利用者様が増えている為と思われます。この1年で入退院した利用者の内訳は上記(4)表のとおりです。

今年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により、医療体制のひっ迫、医療崩壊になりつつあり、受け入れて頂けないケースもあり通院困難となりました。その様な中、協力医療機関と連携し施設内で出来る範囲の治療を行い、2月、3月におきましては入院者は0名となっています。

入院延日数を実人員換算すると、年間平均で入院者は3.6名になります。今年度は減少傾

向にありますが、先に述べたように新型コロナウイルス感染症が大きく関わってきています。また、入院中に合併症を併発し逝去されたり看取り希望で退院されるケースや長期療養を希望され療養型病院へ転院され退所となるケースも増えてきている為と思われます。今後も感染予防に努め、利用者様の健康管理、疾病の早期発見に努め適切な対応をしていきたいと思っております。

## 12. リハビリテーション課

### I. 令和2年度事業計画の代表的な計画一覧

1. シーティング・ポジショニング用品の充実化と対応、適切な車椅子使用の評価と選定
2. 食事における椅子での座位ケアの推進、食事介助介入による評価
3. 利用者機能訓練内容を日常生活へ活かすための介護職員への指導
4. 認知症の行動・心理状況に対する緩和ケア
5. 集団リハビリの実施（※）

上記項目を令和元年度事業計画として立案した。

### II. 令和2年度事業計画の実施状況

1. シーティング・ポジショニング用品の充実化と対応、適切な車椅子使用の評価と選定
  - (1) シーティング・ポジショニング用品及び車椅子の状況を調査。
  - (2) 選定に関する情報収集を行う。
  - (3) 車椅子の選別、新たな機能付き車椅子の入れ替え、導入。
  - (4) 必要に応じてポジショニング、シーティングの申し送り表を作成。
2. 食事における椅子での座位ケアの推進、食事介助介入による評価
  - (1) 利用者様の体格や姿勢に合わせ調整可能な調整式の椅子及びテーブルの選定導入。
  - (2) 食事介助介入による食事、姿勢評価、自助具の選定、作成等の実施。
3. ご利用者様への機能訓練内容を日常生活へ活かすための介護職員への指導
  - (1) 勉強会の実施
    - a. 職員、利用者様の負担軽減目的とした移乗ボード研修会。
  - (2) 新年度のリハビリ課から発信する研修内容を検討
    - a. 医務課発信の褥瘡予防研修内の一部としてポジショニング研修
    - b. 持ち上げない介護を意識したトランスファー研修
    - c. 主に介護職員の腰痛予防対策研修
    - d. 車椅子、椅子上でのシーティング研修
4. 認知症の行動・心理状況に対する緩和ケア
  - (1) 利用者様に対する気分転換
  - (2) 身体のリラクゼーション
  - (3) 傾聴

## ※5.集団リハビリ実施の定例化

令和 2 年度事業計画にありませんが令和 2 年 6 月より新リハビリ職員による新体制の中で企画、立案、実施となりました。毎週木曜日の実施。

- (1) 集団体操による身体機能の維持向上
- (2) 屋外での園芸療法による季節感など見当識の確認、外気刺激による刺激入力
- (3) ドッグセラピーを用いた精神的ケア及び情動の表出
- (4) 紙芝居、落語など視覚、聴覚刺激の入力、回想法による脳の活性化
- (5) 音楽療法へのリハビリ課の介入

## III.令和 2 年度事業計画の成果・反省点

### 1. シーティング・ポジショニング用品の充実化と対応、適切な車椅子使用の評価と選定成果・反省点

#### (1)シーティング・ポジショニング用品及び車椅子の状況の調査

成果としては、経年劣化したクッションなど選定、整理を行う事ができた。  
また、定期的にフロアで使っているベッド、マットレス、車椅子、クッションなどの使用状況を調査し利用者様ご本人にとって合う福祉用具を使っているか確認をした。また、劣化や不足している物の確認を行うようにした。  
調査はするが不足しているものを選定し購入することや利用者様に適したクッションなどの選定など思うような取り組みに進展する事ができなかった部分もあり、次年度の課題となった。

#### (2) 福祉用具選定に関する情報収集を行う

選定に関しての成果は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により勉強会や国際福祉機器展の中止により思うような情報収集は出来なかった部分もあった。その中で施設内の他職種からの情報収集や福祉用具業者と協力しご利用者にあった福祉用具等必要な選定、知識など教えて頂ける機会を設けることができた。また、リハビリ課内でも情報共有を行ってきた。

#### (3)車椅子の選別、新たな機能付き車椅子の入れ替え、導入

成果として、車椅子に関しては今年度、自動ブレーキ車椅子を 5 台購入。ブレーキ管理が困難な利用者様が増え安全を確保する為、購入する。前年度 10 台の多機能型車椅子を購入されていたが依然として経年劣化、耐用年数を越えた車椅子を使用しているものもみられる。また、ご利用者が快適に過ごせる車椅子の選定、生活の質の向上職員の介助負担を軽減する為、計画的に車椅子を入れ替えていく。

(4) 必要に応じてポジショニングの申し送り表を作成。

成果としては、ポジショニングやシーティングの申し送り表に写真を添えた文書を作成することにより、視覚的に他職種にも伝わりやすくなるような工夫をする。

しかし、その後のフィードバックを持つ機会が少なかったことが課題としてあげられる為、今後、様子観察、情報収集の機会を増やしフィードバックの機会を増やせるように取り組んでいく。

(5) 集団リハビリの実施

他職種と連携することよりの集団リハビリで様々な内容の取り組みを行う事ができた。個別訓練では得られない刺激や反応があり集団として取り組むことでの効果を実感することができた。経験不足により、リハビリ職員が集団での対応に慣れてなかった部分もあったが回数を重ねるごとに質の高い取り組みを行えてきた。

環境設定などの課題はあるが一つ一つ改善しながらご利用者にとって実りのある集団リハビリを目指して行く。

2. 食事における椅子での座位ケアの推進

成果・反省点

高さ調整式のテーブルを各フロアに2台ずつ導入。

食事介助時、姿勢保持や食事摂取の状態を観察、評価をする。

必要に応じて食事時の姿勢を保てるような補助具、食事動作自立への助けとして自助具の作成を行った。

食事介助への介入時に食事介助に集中してしまい周囲への関心が至らない事があった。フロアのご利用者全体に目を向け状態観察を行えるように意識して介入をしていく。

4. 介護負担の軽減対策

令和2年度は各フロアに移動介助時等の身体への負担軽減のためにスライディングボードを各フロアにて研修会を実施。「持ち上げない介護」の意識が高まり使用していただく機会が増える。

反省点として一度の研修では移乗器具の優位性や操作方法などの理解を深めにくく個別での対応を行うがスケジュールなどかみ合わない部分もあった。新型コロナウイルス感染拡大もあり、全体研修が困難と言った状況ではあるものの、昨年度介護職員の身体の不調等が多く見られたために、必要性を十分に伝えると共に実働で負担なく使用出来る様に必要な物品の確保を進めていく。ごく少数の職員しか対応ができなかったが研修を受けて頂いた職員から「慣れたら楽に使いそう」や「思っていたより使いやすい」などの声が聞かれた。

#### IV.介入人数

以下に平成 29 年度からのリハビリ介入延べ人数を示す。

表.1 リハビリ介入延べ人数(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H29	367	429	311	400	333	402	671	334	435	443	364	539	5028
H30	340	321	340	309	240	392	353	297	312	334	304	391	3933
R1	377	325	342	334	189	150	173	55	50	30	45	48	2118
R2	20	137	297	273	346	319	454	535	592	463	488	532	4456

※平成 29 年度は 9 月迄機能訓練指導員と非常勤作業療法士が介入。それ以降は常勤理学療法士の介入人数を含めます。3 月は新たな非常勤作業療法士の介入も含みます。平成 30 年度は 8 月迄、機能訓練指導員と常勤理学療法士・作業療法士の介入人数で、それ以降は理学療法士・作業療法士のみの介入人数です。

令和元年度は 8 月まで理学療法士・作業療法士が実施、9 月は作業療法士、機能訓練専従看護師、10 月は看護職員 1 名を機能訓練指導員とし対応、3 月、4 月は理学療法士対応の人数です。

5 月はマッサージ師のみ対応の人数です。6 月より理学療法士、マッサージ師、柔道整復師の対応の人数です。

#### V.その他

令和 2 年度 4 月から 6 月前半はコロナウイルスによる緊急事態宣言により理学療法士が出勤出来ず、柔道整復師は施設経験が未経験の為、1 ヶ月弱程度介護課へ研修に参加していた為、5 月はマッサージ師のみでの対応。3 人体制になってから序盤は介入の方法等で戸惑う事もあり介入人数が思うように上がらなかったが後半より介入が安定していきました。

## 1 3-1 栄養・調理

### (1)はじめに

食事を美味しく召し上がっていただき、心と身体の栄養に繋げる為には、どうしたら良いか、日々探求心を持って前向きな姿勢で取り組んでいます。「食事は自分の力で楽しく頂きたい。」これは誰もが望むことですが、加齢による機能の低下は避ける事ができません。その衰え方には、個人差がある為「常菜」「一口大」「粗刻み菜」「刻み菜」「ミキサー菜」の5形態及び今年度は利用者の状態に合わせた対応として「ゼリー食」を初めて導入し開始しました。また利用者が元気に過ごして頂く為にエネルギーやタンパク質を強化した献立を作り、食事を提供しています。嚥下機能の低下している方には、追加食の提供を実施し、栄養量の確保に努めています。

#### ① イベント食の実施

月1回の「誕生日食」及び「選択食」は年4回行い、肉料理・魚料理を選んでいただきました。敬老会には、味だけではなく、食欲が増すように盛り付けにもこだわり、利用者と職員が一緒に作った梅ジュースをゼリーにしてお祝い膳を召し上がって頂きました。クリスマス会では初めての試みとして8種類の手作りデザートを自由に選んで頂けるよう工夫しました。その他、ひな祭りや観桜会では行事に合わせたおやつを作り楽しんで頂きました。また、食事懇談会・嗜好調査で一番食べたい料理「寿司」を11月～5月上旬まで月1回行うなど、希望にも応えています。今年度のイベント食は新型コロナウイルスの影響の為、試行錯誤した結果、例年とは違う形の開催となりました。

#### ② 水分補給ゼリー

1日に必要な水分を十分摂取できない利用者や、入浴後の水分補給の為のゼリー等を状況に応じて提供しました。

#### ③ 服薬ゼリー

1日3回薬を安心して服用して頂ける様に、召し上がりやすい味で作りました。

#### ④ 自助具や食器・スプーン

自立支援のため常備している「介助食器」、「介護スプーン」、「汁物マグカップ」「すべり止めマット」に加え、「スポンジグリップ」や「プラスチックスプーン」も用意し、幅広い個別対応をしています。

#### ⑤ 嗜好調査

今回の調査(2階利用者29名・3階利用者21名)は、令和3年3月20日～3月24日の期間実施しました。食事懇談会では意見が特定の利用者に偏る傾向がありますが、嗜好調査では個別の希望が直接伺え、以前より細かい要求が増えています。現状としては利用者全員の意向は把握しづらい為、嗜好調査や食事懇談会を確認する事や食事摂取量・提供時のラウンドも行い、利用者が満足出来る食事内容にしています。

## 13-2 食事懇談会

令和2年度も、利用者の嗜好や普段の食事についての要望・質疑応答や意見を直接伺う為に、食事懇談会を実施しました。今年度は新型コロナ感染拡大により料理クラブについては飲食を伴うクラブという事もあり開催を見合わせている旨をお知らせしました。また、施設でもイベントや行事等が昨年とは違う内容で行う事を伝えました。コロナ禍でも利用者に楽しんで頂ける為に、クリスマス会では手作りの8種類のデザートの提供、ひな祭りや観桜会でも季節のおやつを利用者に合わせて作成した事を報告しました。また日常のメニューにおいても、要望に応じて新しい献立を提供し喜ばれています。

利用者からの意見が沢山あり、応えられない状況も見られますが、今後も可能な限り意向を取り入れ、充実した食事の提供を目指して行きたいと思っております。

### 食事懇談会実施状況

実施日	参加人数	活動内容
第1回 令和2年 4月8日	2階利用者 23名 職員 14名 3階利用者 32名 職員 15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の振り返り</li> <li>・ 生物提供時期</li> <li>・ ホーム喫茶</li> <li>・ 新型コロナウイルス発生時の対応</li> <li>・ まとめ</li> </ul>
第2回 令和2年 6月3日	2階利用者 23名 職員 12名 3階利用者 27名 職員 11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の予定</li> <li>・ パンの提供について</li> <li>・ 寿司の提供</li> <li>・ 食中毒</li> <li>・ その他</li> </ul>
第3回 令和2年 8月5日	2階利用者 25名 職員 8名 3階利用者 27名 職員 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 料理クラブについて</li> <li>・ 新メニューについて</li> <li>・ 以前の要望についての報告</li> <li>・ 要望について</li> <li>・ その他</li> </ul>
第4回 令和2年 10月7日	2階利用者 24名 職員 10名 3階利用者 29名 職員 11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 料理クラブについて</li> <li>・ 要望について</li> <li>・ 食事提供についての今後の予定</li> <li>・ その他</li> </ul>

実施日	参加人数	活動内容
第5回 令和2年 12月2日	2階利用者 19名 職員 10名 3階利用者 29名 職員 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の予定</li> <li>・クリスマスのデザートについて</li> <li>・年末についての対応</li> <li>・お正月について</li> </ul>
第6回 令和3年 2月10日	2階利用者 26名 職員 7名 3階利用者 25名 職員 7名	<p>&lt;1&gt;今年度の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症防止の対応</li> <li>・選択食についての変更</li> <li>・クリスマス会の報告</li> <li>・お正月料理の報告</li> <li>・利用者からの要望</li> </ul> <p>&lt;2&gt;嗜好調査の実施のお願い</p> <p>&lt;3&gt;その他</p>

## 13-3 年間栄養摂取量

	熱量 Kcal	蛋白質 g	炭水化物 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミンA μg	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	塩分 g
4月	1,370	60.8	182.2	42.9	596	8.2	938	0.67	1.01	81	8.1
5月	1,371	60.8	183.3	42.4	604	8.6	950	0.66	0.99	86	8.1
6月	1,389	60.1	185.0	44.0	602	8.3	972	0.69	1.03	90	8.2
7月	1,370	59.9	185.0	42.0	584	8.7	968	20.67	0.98	93	8.3
8月	1,357	59.9	180.7	42.3	583	8.8	941	0.68	1.02	84	8.3
9月	1,354	59.1	184.0	41.0	579	8.4	874	0.66	0.97	93	8.1
10月	1,377	59.9	183.7	43.4	583	9.2	916	0.72	0.98	95	8.2
11月	1,358	59.9	182.6	41.6	584	9.2	939	0.68	0.98	95	8.1
12月	1,381	59.7	185.9	43.1	598	7.9	976	0.68	1.00	79	8.1
1月	1,360	59.5	183.4	41.6	530	8.3	945	0.66	0.94	64	7.9
2月	1,379	60.6	183.5	43.6	587	8.4	1083	0.71	1.01	87	7.9
3月	1,399	61.1	186.1	44.1	583	8.1	1065	0.66	1.00	63	8.0
合計	16,465	721.2	2205.4	512.0	7013	102.8	11567	8.14	11.91	1010	8.1
平均	1,372	60.1	183.8	42.7	584	8.6	964	0.68	0.99	84	8.1
基準値	1,350	59.7	190.0	39.0	600	10.0	1,000	0.80	1.00	100	8.0

13-4 行事食の実施状況

月	日	行事名	行事食の主な内容	備考
4	1	開設記念日	お赤飯・天ぷら（海老・野菜）・いくらと蕪の和え物 キウイフルーツ・若竹汁	4月8日 食事懇談会
5	5	端午の節句	ご飯・ねぎとろ盛り・茶碗蒸し・キャベツの胡麻和え パイン缶・すまし汁（花麩） <おやつ> 柏餅	栄養コラム 掲載
	10	母の日	穴子の混ぜご飯・露と生揚げのそばろ煮・桜ん坊ゼリー 細筍の赤だし汁	
6	14	父の日	ご飯・柔らかかつ・烏賊と胡瓜大葉の酢味噌和え 金時豆煮・味噌汁（豆腐・葱）	6月13日 食事懇談会
7	7	七夕	七夕そうめん・豚肉と茄子の油味噌・青豆腐の薬味のせ・葡萄	
	21	土用の丑①	鰻蒲焼丼・胡麻豆腐・胡瓜トマトの酢の物 キウイフルーツ・すまし汁（花麩・貝割）	
8	2	土用の丑②	鰻梅ひじき丼・卵豆腐・烏賊胡瓜しその酢の物・果物 すまし汁（紅白半片）	8月5日 食事懇談会
9	16	敬老会	栗入りお赤飯・金目鯛の西京焼き・天麩羅（海老・野菜） 炊き合わせ・大根の柑橘漬け・手作り梅ゼリー すまし汁（松茸）	栄養コラム 掲載
	22	秋分の日	きのこうどん・春菊と鶏の和え物・水ようかん（抹茶） <おやつ> 手作りおはぎ	
10	21	お楽しみ食	いなり寿司・茶碗蒸し・ぬか漬（胡瓜） フルーツゼリー葡萄・里芋茸汁	10月7日 食事懇談会
11	24	お楽しみ食	中華おこわ・豚肉の角煮・酢の物（パンサンスー） オーギョーチー風レモンゼリー・中華スープ（若布・葱）	
12	23	クリスマス デザート	アップルパイ・フルーツタルト・ティラミス かぼちゃプリン・りんごケーキ・抹茶ムース ぶどうゼリー・すももヨーグルト	12月2日 食事懇談会
	25	クリスマス食	ご飯・手作りハンバーグ・サーモンサラダ・メロン ポタージュスープ	
	31	大晦日	天ぷらそば・さつま芋とプルーン煮・みかん	

1	1	お正月	赤飯・おせち盛り祝い菓子・お刺身盛り（鮪・カンパチ） 金平牛蒡・いちご・紅白汁	栄養コラム 掲載
	2	お正月	鮭の親子丼・胡桃の彩り白和え・果物・すまし汁（蒲鉾・万能葱）	
	3	お正月	ご飯・天麩羅（海老・野菜）・黒豆・りんご・けんちん汁	
	7	七草	七草粥・魚の粕漬け焼き・レンコンの金平・果物のスカッシュ煮 なめこの赤だし汁	
2	3	節分	ご飯・手作りいわしフライ・ひじきの炒め煮・キウイフルーツ 鬼除け節分汁	2月10日 食事懇談会
3	3	ひなまつり	穴子ちらし・胡桃の彩り白和え・フルーツ寒天蜜かけ・潮汁 （蛤） ＜おやつ＞甘酒・手作りひな祭りようかん	3月 嗜好調査
	20	春分の日	わかめそば・竹輪の磯部揚げ・胡麻豆腐 ＜おやつ＞手作りぼた餅	

誕生日食⇒毎月1回実施

栄養コラム⇒随時掲載

### 13-5 選択食の実施状況

選択食/日付	内 容
令和2年 6月16日	和風ハンバーグ または 金目鯛の煮付け
令和2年 10月6日	サーモンフライ または 豚肉の生姜焼き
令和2年 12月10日	メンチカツ または むきかれの照り焼き
令和3年 2月9日	柔らかかつ丼 または ねぎとろ盛り

#### 14-1 事故苦情対策委員会

令和2年度は令和元年度と比較し、事故報告書・ヒヤリハット報告書共に件数が増加しています。

増加の原因として、入所者の心身のレベル低下、原因不明の皮膚トラブル、慣れからくるケアによるもの、入居者の個々の状態を把握が出来なかったケース、同一入居者による複数回にわたっての事故やヒヤリハット、傾向と対策を立てたが、周知でできずに起こっている事故やヒヤリハット等が報告書などから読み取れています。

また、入居者間でのトラブルや、入居者、家族からの苦情も聞かれ個々に対応を行っています。

転倒後の対応、滑落后から骨折につながっているケースもあり、異常時の際は速やかに受診し早期対応が行える様対応の強化も行っております。

令和元年度と同様な事故やトラブルが散見されており、その為個々の入居者の状況の把握と情報の共有に努めると共に、原因の追求、再発防止に努めてゆきたいと思えます。

また、入居者間のトラブルについては話し合いを何度も持つ、動線を変える、居室移動や食事席の変更等を行い、視野の中での見守りを行いトラブル防止に努めています。

また、ご家族にも報告し、今後のケアについても相談を行いご本人様にとって住みよい生活を送れる様検討を行ってきました。

入居者懇談会を偶数付きにて実施しその中で上がった希望等については、職員間で情報の共有を図り改善、実施といった事を行い、再度入居者懇談会にて入所者に報告をさせていただきました。

苦情を通し、サービスマナーという観点からも研修を実施し自身の振り返りを行い初心にかえる試みも研修を今年度も実施しました。

次年度についても、引き続き個々の利用者の把握、情報の共有や伝達方法の検討なども含めながら、原因の追求、再発防止に努めてゆきたいと思えます。

更に、事故発生後速やかに関係部署においてOJTを行い、事故報告書の発生の原因と再発予防対策と発生原因の分析を行うことで、リスクマネジメント意識を高めるものとします。定期的なサービスマナー、身体拘束やリスクマネジメント、虐待防止法等の研修を実施しより良いケアにつなげられる様に次年度も職員個々のスキルアップを目指しケアを行ってゆきたいと思えます。

令和2年度も受診等に至った事故については保険者にすべて適正に報告致しました。

##### (1) 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年4月23日 17:00~17:15	14名	・ 移乗動作時等の際の介助方法の再度見直しを行った ・ 3, 4月のヒヤリハット、事故報告の件数と傾向

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年5月28日 16:45~17:00	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4, 5月のヒヤリハット、事故報告の件数と対策について</li> <li>・同一入居者による事故について検証</li> <li>・ショートステイ利用者の持ち物チェック方法について</li> <li>・補聴器の紛失の件</li> <li>・5/22(金) 新入職員向け身体拘束、虐待防止、サービスマナー研修を実施</li> </ul>
R2年6月25日 16:45~17:00	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5, 6月のヒヤリハット、事故報告の件数と対策について</li> <li>・センサーマットの不具合による事故等について</li> <li>・クレーム: 入所者より家族から差し入れのおやつの提供方法について</li> <li>・クレーム: 入所者より数カ月前より洗濯からパジャマが戻って来ない事について</li> </ul>
R2年7月23日 16:50~17:15	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーム: 家族より入所者から明け方に携帯電話に寒いと言っているのにかけてもらえないと電話が入り、その件で施設に連絡が入った件</li> <li>・遺留品家族に返却後に別な場所から遺留品が出てくる件での遺留品の取り扱いについて</li> <li>・トラブル: 入所者間でのトラブルについて</li> <li>・6,7月のヒヤリハット、事故報告の件数と対策について</li> </ul>
R1年8月27日 16:45~17:05	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7.8月中のヒヤリハット・事故報告について</li> <li>・センサーマットのオン・オフの操作誤りによる事故やヒヤリハットについて</li> <li>・クレーム: 家族より本人に必要な身の回りの物を持たせて欲しいとの希望の件</li> <li>・クレーム: 入所者より中庭からの西日がきつい為よしずを掛けて欲しいとの希望</li> <li>クレーム: 入所者より他の方の衣類が戸棚にしまわれているとクレームについて</li> </ul>
R1年9月24日 16:45~17:05	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8.9月中のヒヤリハット・事故報告について</li> <li>・クレーム: 家族より第三者を通して入所者(親族)の個人が特定できる内容を耳にしているとのクレーム</li> <li>・クレーム: 入所者より介助の際に怖い思いをしたとのクレーム</li> <li>・同一入所者によるヒヤリハット・事故発生について</li> </ul>
R2年10月22日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9.10月中のヒヤリハット・事故報告について</li> </ul>

16 : 40~17 : 05		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各フロアからの報告</li> </ul>
R2年11月26日 17 : 10~17 : 40	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10.11月中のヒヤリハット・事故報告について</li> <li>・皮膚トラブルが増えている件についての検証</li> <li>・同一入居者による事故について</li> <li>・離設が数回あった件について</li> <li>・センサーの on・off 漏れ、反応しない件について</li> </ul>
R2年12月24日 17 : 00~17 : 40	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11.12月中のヒヤリハット・事故報告について</li> <li>・原因不明な皮膚トラブルは多く見られている件</li> </ul>
R3年1月28日 17 : 15~17 : 45	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12.1月中のヒヤリハット・事故報告について</li> <li>・トラブル：入所者間のトラブルについて</li> <li>・センサーが反応しない件について</li> <li>・異食行為について</li> </ul>
R3年2月25日 16 : 30~16 : 55	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1.2月中のヒヤリハット・事故報告について</li> <li>・ヒヤリハットの傾向について</li> <li>・同一入所者による事故やヒヤリハットの件について</li> </ul>
R3年3月25日 17 : 15~17 : 30	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.3月中のヒヤリハット・事故報告について</li> <li>・事故報告の増加について</li> <li>・同利用者によるヒヤリハット・事故について</li> <li>・転倒事故による骨折事故について（保存）</li> <li>クレーム：KPの妻より相談員の対応について不快を感じたとのクレームについて</li> <li>クレーム：家族より体重減少と依頼した対応をして頂けないとのクレームについて</li> <li>・入所者より依頼した事を対応も改善もしてくれないとのクレームについて</li> <li>・腕時計が紛失している件について</li> <li>・トラブル：入所者間のトラブルについて</li> </ul>

14-2 令和2年度 月別事故分析

発生時間	発生内容																計
	転倒	転落	ずり落ち	誤飲	誤嚥	誤薬	衝突	火傷	自傷行為	打ち付け・挟み込み	異食行為	原因不明	利用者間のトラブル	施設外へ徘徊・無断外	職員の介護中	その他	
4月	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	2	8	16
5月	3	3	1	0	1	1	0	0	0	5	1	0	2	0	0	8	25
6月	5	4	0	0	1	0	0	0	0	3	1	7	0	0	0	9	30
7月	8	1	6	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	11	30
8月	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	6	16
9月	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4	9
10月	4	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	7	16
11月	6	2	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1	0	0	0	4	18
12月	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	15
1月	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	0	0	3	22
2月	12	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	5	22
3月	5	1	3	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	1	3	18
計	66	16	17	0	2	3	0	1	1	18	11	22	6	0	3	71	237

### 14-3 事故発生状況

#### (2) 事故（ヒヤリハットを含む）内容別年度比較

単位：件

内容 年度	転倒・転落			ずり落ち			その他		計	備考
	ベッド	歩行中	車椅子	ベッド	車椅子	ホータブル	誤嚥	その他		
30年度	13	9	6	10	0	0	1	113	152	通院 2 件 入院 1 件
元年度	23	25	41	11	17	1	3	160	281	通院 3 件 入院 2 件
2年度	9	19	16	3	6	7	3	744	807	通院 8 件 入院 1 件

令和2年度市区町村に届け出た件数は2件。内訳入院1件、通院1件

#### (3) 事故発生分析と予防対策 ※令和2年度のその他にはヒヤリハット件数1年分を含む

令和2年度の事故発生件数は全体的に昨年度より増加しています。転倒・転落、ずり落ちの件数は減少していますが、その他の中で皮膚トラブル（剥離、内出血、特定できない皮膚トラブル等）や異食が増えています。事故発生件数が増加した要因として、認知症状の重度化や入所者の身体機能低下、また、同じ入所者による事故が繰り返し見られ（椅子からの立ち上がり、歩行による転倒や車椅子からの滑落、トイレでの移乗動作時に滑落等）するケースが多発している点が挙げられます。また、マットセンサー等の不具合や、ON・OFFの確認漏れ等によつての事故も見られています。更に、初歩的なケアのミスにより起きてしまっている事故やヒヤリハットも見られている事もあり、様々な角度から検証し発生原因を特定してゆき予防や対策に努めると共に、関係部署間での情報共有を行う必要があります。機能訓練指導員と連携を図り、身体機能やその他個々に応じたベッド環境や車椅子、ベッド等の検討、見直しを行う事で、未然に防げる事もあり今後の課題として、検討と対応強化してゆく必要があります。職員研修での課題等を通して入所者個々の特性を知り未然に防げる対応の確認と実践を行う等の各自が再確認を行いました。

センサーマット等の不具合による事故やヒヤリハットも繰り返し発生している為、適宜使用の具合を確かめ常に使用できる状況である事の確認も行っていく必要があります。

今年度も転倒による骨折が発生しています。入所者の特性や心身状態の把握と確認を行う事やヒヤリハットにより多くの気づきを早めに周知することで内容を分析し、早急なフィードバックを行い事故予防に繋げています。

本年度の反省を生かし事故、苦情委員会を中心に全職員が細心の注意を払い事故防止に努めたいと思います。

14-4 時間別事故パターン分析

発生時間	発生内容															計	
	転倒	転落	ずり落ち	誤飲	誤嚥	誤薬	衝突	火傷	自傷行為	打ち付け・挟み込み	異食行為	原因不明	利用者間のトラブル	施設外へ徘徊・無断外	職員の不適切な行動		その他
0時	2														2	7	11
1時	1											1				3	5
2時	2											1				3	6
3時	1									1						4	6
4時	3	1														14	18
5時	3	1	1							1		1				7	14
6時	8		1									1			1	16	27
7時	1	1	2			1										24	29
8時	5				1				1	2	1	2				24	36
9時	3	2	1							2	1	6				45	60
10時	7	1			1					2		6	2			54	73
11時	1				1				1	2	3	2			1	41	52
12時	1											1			1	37	40
13時	2	4	2							1			4			33	46
14時	3		5							3	3	7	4			57	82
15時	2	2	2						1	2	3	1				42	55
16時	3		1					1	1	2	2	3	1			33	47
17時	3	1			2	2				1	1				1	42	53
18時	6	1	1						1	1		1				37	48
19時			1													10	11
20時	3	1											1			19	24
21時	4											1				10	15
22時	3		1													3	7
23時		2														1	3
計	67	17	18	0	5	3	0	1	5	20	14	34	12	0	6	566	768

## 15 身体拘束適正化委員会

事故苦情解決委員会の中や身体拘束適正化委員会の中で高齢者虐待、リスクマネジメント、サービスマナー等について確認を行ってきました。コロナ渦という特別な年でもあり集団での研修が困難となり、個人ワークを中心としての研修を実施し自身での振り返りの場となりました。

また、厚生労働省から発表されている、「平成 27 年度 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果」から施設養護者の虐待が増加していることから当施設においてもこの結果を職員全体会議で周知を行ってきました。

定期的にセンサーマット等のセンサー類が適切に使用できているのか、ベッド環境が個々にあったものなのかを各フロアで確認し、検討し行きました。

新年度の課題として、眠りスキャンを上手に活用し夜間の睡眠状況や体動等の個々の癖などを確認し個別ケアの充実を図ってゆきたいと思います。また、現在転落事故防止等リスクマネジメントとして様々なセンサーを使用していますが、これらの使用状況をモニタリングし継続使用が必要かどうかを随時検討しできるだけ使用は最小限にすることの検討を進めていきます。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年4月23日 17:15~17:25	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束適正化研修内容について</li> <li>・身体拘束適正化指針の見直しについて</li> <li>・身体拘束適正委員会は3か月に1度開催する。</li> </ul>
R2年5月22日 9:30~11:00	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職員向けに身体拘束廃止研修実施を行った</li> </ul>
R2年7月23日 17:15~17:30	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドセンサー、床マットセンサーの使用状況の把握と検討について</li> </ul>
R2年10月22日 16:30~16:35	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーマット等の電源のオン・オフについて、</li> <li>・センサーマットの誤作動について</li> </ul>
R2年11月26日	64名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員対象として身体拘束・虐待についての書面にて研修 ※各自個人ワークにて提出</li> </ul>
R2年1月28日 17:35~17:45	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各階、センサーマット等の使用状況の見直し</li> </ul>
R2年3月26日	60名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員対象として身体拘束・虐待についての書面にて研修 ※各自個人ワークにて提出</li> </ul>

## 16 衛生委員会

令和2年度衛生委員会は毎月第三木曜日に開催し、全12回開催しました。開催した衛生委員会には、全て産業医の中村麻予医師が参加し（所属医療機関クラスター発生の為、リモート参加2回）、指導・助言を頂きました。毎月の産業医による職場巡視の結果報告を行い、職場環境改善や労災防止等の対策を行いました。

また、全職員定期健康診断を9月に実施し、夜勤を行う職員は法令に基づき3月に実施し、年2回の健康診断を行い、診断結果により産業医から個別の面接指導を行って頂きました。

労災については3件発生しました。1件は厨房職員の調理中のI度の顔面のやけど2件目は調理室出口での躓き転倒による腕の脱臼、骨折、3件目は介護員のドアで手を挟んだ事故である。いずれも労基署へ報告し、衛生委員会にて分析、予防対策を行いました。

また、新型コロナウイルス再拡大に伴う感染予防対策、PCR検査の実施等1年を通じて対策を検討しました。本年度はオンライン診療、クラスター発生時に備え環境及び衛生材料の整備を行い、防護服の着脱訓練や発熱利用者に対するスタンダートプリコーションによるケアを実施しました。また、オンライン研修や会議ができるよう、パソコン等機器の整備を行いました。

以下が本年度の主な検討事項です。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年4月17日	産業医他 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医務室の職場巡視結果について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (マスク、消毒衛生材料在庫確認) (濃厚接触者の定義確認) (感染予防対策等) 他</li> </ul>
R2年5月15日	産業医他 9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階フロア、浴室の職場巡視結果について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (防護服着脱訓練について) (緊急事態宣言解除後の面会方法について) (オンライン診療の開始について) (感染予防対策として3階会議室改修について)</li> <li>・その他</li> </ul>
R2年6月19日	産業医他 9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3階ワーカー室、倉庫、一般浴室・会議室の職場巡視結果について</li> <li>・産業医の所属保険医療機関変更について</li> <li>・施設における医療行為について</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年6月19日	産業医他 9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月、6月に発生した労災の件について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (面会方法、会議の開催方法について)</li> </ul>
R2年7月17日	産業医他 8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/12(金) 食堂・1階面会コーナー巡視結果について</li> <li>・5月、6月に発生した労災分析、予防対策について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (東京都における感染再拡大について) (施設等における感染予防の再徹底について)</li> </ul>
R2年8月21日	産業医他 11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ室の職場巡視結果について</li> <li>・利用者・職員定期健康診断の実施について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (新型コロナウイルス包括支援金について) (冷感マスクの使用について) (外部研修取扱いについて)</li> </ul>
R2年9月18日	産業医他 11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所・施設地洋室の職場巡視報告</li> <li>・利用者・職員定期健康診断の実施結果について</li> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (近隣救急医療機関がクラスターとなり、機能を一時止めている件について)</li> </ul>
R2年 10月16日	産業医他 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士室、厨房休憩室、食品保管庫の職場巡視結果について</li> <li>・利用者・職員定期健康診断の結果に基づく産業医の個人面談の実施について</li> <li>・インフルエンザ予防接種の実施について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について</li> </ul>
R2年 11月20日	産業医他 11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厨房内の職場巡視結果について</li> <li>・インフルエンザ予防接種の実施について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (新型コロナウイルス対応に伴う職員の派遣登録について) (新型コロナウイルス再拡大に伴う対応について) (面会方法の変更について) (東京都助成によるPCR検査について) (ボランティア等の対応について)</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年 12月18日	産業医他 12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯場の職場巡視報告</li> <li>・冬場における換気対策について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (面会を見合わせる件について) (高齢者施設における感染予防対策の徹底について) (PCR検査の検査会社との契約について) (新規入所者のPCR検査の実施について) (発熱利用者へのケア時のスタンダードプリコーションについて) (職員の抗原検査、PCR検査の実施方法について)</li> </ul>
R3年1月15日	産業医 (リモート参加) 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階倉庫の職場巡視結果について</li> <li>・12月に発生した労災の件について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (東京都福祉保健局通知・緊急事態宣言を踏まえた介護サービス事業所の対応について)</li> <li>・その他</li> </ul>
R3年2月19日	産業医 (リモート参加) 12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階女子更衣室の職場巡視結果について</li> <li>・12月28日に発生した労災分析</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について</li> <li>・夜勤業務実施職員の健康診断の実施について (全職員PCR検査実施結果について) (ワクチン接種方法の検討依頼について) (緊急事態宣言解除後の面会、ボランティアの対応について) (ワクチン接種時のアナフィラキシーショックへの対応について)</li> <li>・その他</li> </ul>
R3年3月20日	産業医他 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室の職場巡視結果について</li> <li>・夜勤業務実施職員の健康診断の実施結果について</li> <li>・新年度残業の届出について</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応について (日本財団による定期的PCR検査の実施について)</li> <li>・その他</li> </ul>

## 17 サービスマナー委員会

介護施設の仕事は対人関係が基本であり、「お客様」の心理を理解したうえで、利用者様やご家族様に喜ばれる、優しさと思いやりのある接遇ができなければなりません。そのため、引き続き職員全体にサービスマナーの意味(概念)を統一するための発信に努めました。

入居者様、ご家族様にとって居心地の良い生活空間が提供できるよう取り組み、基本的なマナーについて日々振り返りができるよう、職員一人ひとりが「敬う気持ち」や「おもてなしの心」を持ち、サービスが提供できるよう取り組みを行いました。

今年度、初めての試みでもある施設スローガン「認め合い」についてもアンケートの実施を行い振り返りの機会を設けてきました。

また 2 か月に一回の委員会では、各部署ごとにマナーについての取り組みや反省点を会議の議題に挙げ、施設全体で考えていけるよう委員会の中で協議しました。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
2年5月28日 15:15～15:25	9名	① 今年度の委員会の進め方について ② マナーについて研修後の変化について ③ 施設スローガン「認め合い」について
2年6月24日 15:20～16:35	11名	① 「認め合い」アンケート結果について ② マナーについて気が付いた事、改善した方が良くと思われることについて
2年8月27日 15:15～15:40	12名	① スローガン「認め合い」の実践に当たって
2年10月22日 15:20～15:35	13名	① マナーについて疑問に思う事、確認したい事について ② 介護施設における5つのマナーについて
2年12月24日 15:15～15:35	12名	① それぞれの部署で気を付けているマナーについて
3年2月25日 15:00～15:20	11名	① マナーについての課題 ② マナーについての気付きと反省 ③ 「認め合い」アンケートについて

## 18 入所検討委員会

昨年度より、入所検討委員会では申込者に対し入所検討を実施し、待機者として待機していただくかたちを取っております。事前面接後も各部署情報を共有し、可否の入所検討を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在宅からの入所は控えさせて頂いたり、入所前のPCR検査の実施と入所される方や外部関係機関の協力を得ながら入所へ繋げました。

また今年度は閉鎖予定施設から受け入れもあり、入所者内訳、病院から9名、老健から9名、在宅から1名、他施設から4名、計23名の方が入所されております。

来年度も感染症の拡大防止を前提に、慎重かつ迅速に入所に繋げて行く必要があります、外部関係機関との連携を密に図っていきます。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
2年4月23日 15:00～15:20	10名	入所申込者3名入所検討会を行い待機とする。 待機者人数の確認と待機者の傾向について。
2年5月28日 15:00～15:20	9名	入所申込者6名、入所検討会を行い待機とする。 待機者人数の確認と事前面接の早急な対応の 必要性について。
2年6月24日 15:00～15:20	11名	入所申込者6名、入所検討会を行い待機とする。 待機者人数の確認。
2年7月23日 15:00～15:20	12名	入所申込者5名、入所検討会を行い待機とする。 待機者人数の確認。
2年8月27日 15:00～15:20	12名	入所申込者7名、入所検討会を行い1名保留、 6名待機とする。待機者人数の確認。
2年9月24日 15:10～15:30	11名	入所申込者6名、入所検討会を行い1名保留、 5名待機とする。待機者人数の確認。
2年10月22日 15:00～15:20	12名	入所申込者4名、入所検討会を行い2名保留、 2名待機とする。待機者人数の確認。
2年11月26日 15:00～15:20	12名	入所申込者3名、入所検討会を行い待機とする。 待機者人数の確認。

開催日	出席人数	主な検討事項
2年12月24日 15:00～15:20	12名	入所申込者4名入所検討会を行い待機とする。 待機者人数の確認と待機者人数の実情について。
3年1月16日 (臨時) 14:10～14:45	3名	待機者の状況について。 コロナ禍においての新規入所者受け入れについて。 ショートステイの受け入れについて。
3年1月28日 15:00～15:20	11名	入所申込者6名入所検討会を行い待機とする。 待機者人数の確認と待機者人数の実情について。
3年2月25日 15:00～15:20	13名	入所申込者5名、入所検討会を行い待機とする。 待機者人数の確認と実情について。
3年3月25日 15:30～15:35	12名	入所申込者4名、書面にて確認を行い待機とする。 待機者人数の確認。

## 19 口腔ケア委員会

当施設においては、自力で口腔ケアを行うことが困難な高齢者や自力で口腔ケアができて加齢と共に十分な保清動作ができず、口腔内が不衛生になったり、機能的に低下したりしていくリスクを抱えた高齢者が生活されています。個別の状況に応じた支援をするためには、チームによる口腔内状態の評価や適切な口腔ケア技術、口腔機能を維持する為の知識の向上に努めていく必要があります。

今年度は歯科医師からの助言指導内容を職員へ伝達し、適切な口腔ケアを実施する事で入居者様の口腔内環境の改善に努めました。また、感染症で実施研修等は行えませんでした。職員一人一人の意識向上が定着されてきております。

次年度も口腔ケアに対しての理解を深めていただける様に努めていきます。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年4月22日 (水)	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケアの物品補充について</li> <li>・口腔ケア衛生管理に関わる助言指導の作成担当について</li> <li>・今年度の目標</li> <li>・義歯ケース、歯ブラシの交換について</li> </ul>
令和2年5月13日 (水)	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各フロアの義歯ケース交換の報告</li> <li>・毎月の歯ブラシの交換について</li> <li>・コップと歯ブラシの乾燥方法について</li> </ul>
令和2年6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務の都合上行っておりません。</li> </ul>
令和2年7月8日 (水)	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各フロアの出来ていない事について</li> <li>・コップの劣化について</li> </ul>
令和2年8月12日 (水)	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔コップの漂白、受け皿の漂白について</li> <li>・感染者の口腔ケアセットの管理について</li> <li>・口腔内の汚れが残っている事について</li> <li>・もとえデンタルクリニックの専門的口腔ケア指導書の報告書の遅れについて</li> <li>・口腔コップを個人購入の物ではなく統一した物で生活支給品として提供できないかについて</li> <li>・マニュアルについて</li> </ul>
令和2年9月2日 (水)	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗菌歯ブラシコップについて</li> <li>・もとえデンタルクリニックの受診時のケース入力について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯ブラシ、義歯ケースの補充について</li> </ul>
令和2年10月14日 (水)	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔禁歯ブラシコップについて</li> <li>・義歯の洗浄の際、義歯ブラシ使用について</li> <li>・追加購入した義歯ケースについて</li> <li>・もとえデンタルクリニック受診後のケース入力について</li> <li>・様子観察者や居室対応中の御利用者の口腔内が汚れていた事について</li> </ul>
令和2年11月11日 (水)	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗菌歯ブラシコップについて</li> <li>・ハミングットについて</li> <li>・義歯安定剤（ファストンパウダー）について</li> <li>・ターミナルになった方の口腔ケアについて</li> <li>・食事時に義歯の入れ忘れについて</li> </ul>
令和2年12月9日 (水)	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗菌歯ブラシコップ購入後の使い心地について</li> <li>・珪藻土マットの使い心地について</li> <li>・ショートステイ利用者の方のコップについて</li> </ul>
令和2年2月10日 (水)	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の目標を見かえって</li> </ul> <p>※1月は緊急事態宣言中であつた為開催せず今月行う。</p>
令和3年		感染拡大と、業務の都合により行っておりません。

## 20 安全衛生委員会

毎月第4木曜日午後を開催しました。

主に利用者様の事故や病気の予防策について話し合いを行いました。高齢者は感染症にかかりやすいので、衛生面での改善策に重点を置き、日常生活支援改善を検討いたしました。

ベッドも順じ更新。また、ウォシュレット便座の設置を進めてきました。

令和1年末頃より新型コロナウイルス肺炎(COVID-19)の流行に伴い、感染症予防対策と同時に衛生物品の充実と施設内設備を整えました。また、1年を通して新型コロナウイルス感染への対応、対策を話し合い利用者様が安心、安全に生活できるように衛生面に配慮し感染予防策に取り組んできました。施設内感染を想定しシュミレーションを行い感染時に備え研修を行ってきました。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年4月23日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 新型コロナウイルス感染症への対応・対策について。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3密(密集、密閉、密接)を避ける(施設内会議は最小限にする)。</li> <li>・ 緊急事態制限発令に伴い面会、ボランティア活動の当面中止。</li> <li>・ スタANDARDプリコーションの徹底。</li> <li>・ 施設内を定期的に消毒。(1年を通しての課題)</li> </ul> </li> <li>* オンライン診療、TV電話の導入を進める。</li> <li>* 買い物等の外出中止、ネット通販等にする。</li> <li>* 衛生材料の補充(防護服、マスク、ゴーグル)済。</li> </ul>
R2年5月28日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 緊急事態宣言解除後の対応について。</li> <li>* 面会について直接面会中止(看取り時は臨機応変に対応) 間接面会の工夫(窓越し、ベランダ越し等)。</li> <li>* 入浴介助時の予防対策、脱水予防について。</li> <li>* 排泄介助時のマスク使用について検討必要。</li> </ul>
R2年6月25日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 感染者が増えている中での今後の活動について(活動再開に向けて)</li> <li>* 利用者の気分転換の為、天気の良い日に外気浴、苑庭散歩を行う。</li> </ul>
R2年7月23日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 施設内クラスターが増加に伴う対応、対策について。</li> <li>* 脱水予防の為ウォーターサーバーの導入検討。</li> </ul>

		*職員の感染予防策周知徹底
R2年8月27日	15名	*高齢者施設におけるPCR検査について。 *利用者通院について ・発熱者の受け入れが困難な状況になっている。近医受け入れ困難、遠方に搬送されたケースあり。 *インフルエンザ予防接種について *ウォーターサーバー導入に関して1F,3Fで使用検討。
R2年9月24日	15名	*インフルエンザ予防接種について。 ・国の補正予算にて65歳以上の高齢者無償となる。 ・10月初旬から接種開始。施設では10月下旬予定。 *10月から順じ加湿器を設置する。 *一斉換気の徹底。時間を決めて行う。
R2年10月22日	15名	*面会について。(インフルエンザ同時流行懸念して) *定期換気の設定について。(周知徹底する) *加湿器設置について。 *各部署で11月中に出来る範囲で大掃除をして行く
R2年11月26日	14名	*面会の対応、制限について。 *PCR検査の徹底について。 *体調不良の時の休暇の取り方について。 *高齢者施設での感染拡大防止対策の再徹底。
R2年12月24日	14名	*利用者発熱時の管理、対応について。 *PCR検査について(年末、年始の検査体制の確認) *換気、加湿を徹底する。
R3年1月28日	14名	*緊急事態宣言発令に伴い施設対応について *職員、新型コロナウイルス感染に伴う休暇の取り方について(施設内感染を防ぐ為)。 *PCR検査について。(全職員検査) *施設内オンラインにて会議開催検討。 *マスクの使用について。(不織布マスクの使用) *施設内感染発生時に備えゾーニングの見直し。
R3年2月25日	15名	*緊急事態宣言解除後の施設内対応について(面会の制限)。 *新型コロナウイルスワクチン接種について ・接種方法の検討。 *定期的に職員のPCR検査の実施について。 *入所時健康診断の様式変更、見直しについて。 ・新型コロナウイルス感染有無も記載する予定。

R2年3月25日	14名	<ul style="list-style-type: none"><li>* 面会再開について(制限を決めての面会再開)。</li><li>* 施設内感染予防として、職員の定期的PCR検査の実施について。</li><li>* 新規入所者、入所時健康診断作成中。</li></ul>
----------	-----	---

## 21 感染症対策委員会

第4木曜日午後を開催しました。

主に、新型コロナウイルス(COVID-19)感染予防対策、施設内感染に備え防護服着用方法の研修会を行い徹底してきました。また、施設内感染を想定しシュミレーションを行い感染時に備えてきました。年2回、感染症に関する研修会、防護服研修、オンラインにて食中毒研修会を開催し再認識をしてまいりました。今後もオンラインによる研修を継続していきたいと思っております。

令和1年末より新型コロナウイルス肺炎(COVID-19)の流行に伴い、感染予防対策と同時に防護服、衛生材料の充実と施設内設備を整え、スタンダードプリコーションの徹底を行いました。

利用者様のご家族には多少不自由をおかけしているかもしれませんが、緊急事態宣言下においてはご家族の理解を求め面会中止とさせていただき、外部の施設内の出入りも最小限にし、スタンダードプリコーションの徹底に努めてきました。

利用者の健康管理の徹底と職員による感染持ち込みを防ぐ為に職員の健康管理、体調不良時の休暇体制を整えPCR検査を充実させてきました。また今年より定期的に検査を行い感染予防に努めてきました。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年4月23日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新型コロナウイルス感染症への対応・対策について。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・3密(密集、密閉、密接)を避ける(施設内会議は最小限にする。)</li> <li>・緊急事態宣言発令に伴い、面会、施設内行事、活動の当面中止。</li> <li>・スタンダードプリコーションの徹底。</li> <li>・施設内を定期的に消毒。(1年を通しての課題)</li> </ul> </li> <li>*オンライン診療、TV電話の導入を進める。</li> <li>*買い物等の職員の外出中止。ネット通販等にする。</li> <li>*衛生材料の補充(防護服、マスク、ゴーグル)済。</li> <li>*保育園休園中の職員への所得補償について。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省の雇用調整助成金の特例措置を利用する。</li> </ul> </li> </ul>
R2年5月28日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*緊急事態宣言解除後の対応について。</li> <li>*面会について直接面会中止(看取り時は臨機応変に対応)間接面会の工夫(窓越し、ベランダ越し等)。</li> <li>*入浴介助時の予防対策、脱水予防について。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>*排泄介助時のマスク使用について検討必要。</li> <li>*全職員、健康管理に留意し感染予防策の徹底。</li> </ul>
R2年6月25日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*感染者が増えている中での今後の活動について(活動再開に向けて対策)。</li> <li>*介護施設向け感染予防動画を今後まとめて行く。</li> </ul>
R2年7月23日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*家庭内感染の増加について。(毎日の検温の実施)</li> <li>*施設内クラスターが増加に伴い対応、対策の徹底。</li> <li>*防護服着脱訓練研修随時開催。</li> </ul>
R2年8月27日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*高齢者施設の置けるPCR検査について。</li> <li>*利用者通院について。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱者の受け入れが困難な状況になっている。近医受け入れ困難、遠方に搬送されたケースあり。</li> </ul> </li> <li>*インフルエンザ予防接種について。</li> </ul>
R2年9月24日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*インフルエンザ予防接種について。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の補正予算にて65歳以上の高齢者無償となる。</li> <li>・10月上旬から接種開始。施設では10月下旬予定。</li> </ul> </li> <li>*一斉換気の徹底について。</li> </ul>
R2年10月22日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*面会について(インフルエンザ同時流行懸念あり)。</li> <li>*定期的に換気を行う(周知徹底する)</li> <li>*加湿器の準備、補充を行う。</li> </ul>
R2年11月26日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*面会の対応、制限について。</li> <li>*PCR検査の徹底について。</li> <li>*体調不良時の休暇の取り方について。</li> <li>*高齢者施設での感染拡大防止対策の徹底。</li> </ul>
R2年12月24日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*利用者発熱時の管理、対応について</li> <li>*PCR検査について(年末年始の検査体制の確認)。</li> <li>*換気、加湿の徹底。</li> <li>*職員家族濃厚接触者PCR検査中、出勤停止対応について。</li> </ul>
R3年1月28日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>*緊急事態宣言発令に伴い施設の対応について。</li> <li>*職員、新型コロナウイルス感染に伴う休暇の取り方について(施設内感染を防ぐ為)。</li> <li>*PCR検査について。(全職員検査)</li> <li>*施設内オンラインにて会議開催検討。</li> <li>*マスクの使用に関して。(不織布マスクの使用)</li> <li>*施設内感染発生時に備えゾーニングの見直し。</li> </ul>

R3年2月25日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 緊急事態宣言解除後の施設内対応について(面会の制限)</li> <li>* 新型コロナウイルスワクチン接種について。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接種方法の検討。</li> </ul> </li> <li>* 定期的に職員 PCR 検査の実施について。</li> </ul>
R3年3月25日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 面会再開について(制限を決めての面会再開)。</li> <li>* 施設内感染予防として、職員の定期的 PCR 検査の実施について。</li> </ul>

## 22 食事委員会

偶数月第2水曜日に開催しました。

R2年度は、『利用者が心身ともに健康で笑顔になる食事提供を目指す』を目標に活動しました。

今年度は、新型コロナウイルス状況の中、行事イベントが中止された代わりに楽しんで頂けるおやつの内容を協議しました。また、料理クラブの開催についての検討を行った結果、感染リスクが懸念されるため見送っています。他にも、利用者が召し上がりやすいようなおやつ時のスプーンの導入や介助食器の補充の確認をしました。選択食提供では利用者が分かりやすいように写真やイラストを使用し選びやすいように工夫しました。以上の取り組みを行うにあたり、委員では利用者が安全においしく楽しく食事がすすむような方法を話し合いました。

これからも改善しなくてはいけない課題がある為、各部署連携を取り協議していきたく思います。今後も利用者の笑顔になる食事の提供を目指し努めていきたいです。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年 4月8日	開催なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の目標</li> <li>「利用者が心身ともに健康で笑顔になる食事提供を 心がける」</li> <li>コロナウイルス感染拡大防止の為第1回の委員会は中止。</li> <li>委員各自で目標を定め、検討し決定する。</li> </ul>
令和2年 6月10日	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の目標について</li> <li>・食器洗浄機</li> <li>・朝食の蓋について</li> <li>・食事用コップについて</li> <li>・おやつのスプーン</li> </ul>
令和2年 8月12日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスクリームの提供について</li> <li>・新しい食器等の購入について</li> <li>・新しい献立について</li> <li>・料理クラブ開催の検討</li> <li>・配膳車の車輪の汚れ</li> <li>・その他</li> </ul>

## 23 排泄委員会

奇数月の第二水曜日に実施。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
2年5月13日	開催なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の目標 「パッドの当て方を丁寧な当て方を心掛ける。 排泄支援加算について学び実践する。」</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の為第1回の委員会は中止。</li> </ul>
2年7月8日	6名参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サルバLLDシートについて</li> <li>・ゴミ袋について</li> <li>・オールインワンおしり洗浄液について</li> <li>・オーバーナイトについて</li> <li>・排泄加算について</li> </ul>
2年9月9日	7名参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陰部洗浄液の使用結果について</li> <li>・ウォシュレット増設について</li> <li>・機械浴の入浴日のオムツカバー交換について</li> <li>・シャワーボトルの湯温が冷めてしまう対策について</li> <li>・排泄業務マニュアルの見直しについて</li> <li>・排泄支援加算について</li> <li>・ずれ防止付きのパッド試用について</li> </ul>
2年11月11日	8名参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ずれ防止付きの尿取りパッド使用結果について</li> <li>・ウォシュレット使用状況について</li> <li>・臭気について</li> <li>・オムツの当て方及び研修について</li> <li>・尿取りパッドの陰部巻きについて</li> <li>・陰部洗浄について</li> <li>・排泄支援加算について</li> </ul>
3年1月13日	5名参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄支援加算について</li> <li>・シャワーボトルの消耗について</li> <li>・尿取りパッドの陰部巻きについて</li> <li>・シャワーボトルの消毒について</li> </ul>
3年3月10日	6名参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿取りパッドの陰部巻きについて</li> <li>・シャワーボトルの消毒について</li> <li>・オムツMLサイズの試用感について</li> <li>・今年度の振り返りについて</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年 10月14日	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい食器等の購入について</li> <li>・介助食器について</li> <li>・新しい対応（献立他）について</li> <li>・配膳車の車輪について</li> <li>・その他</li> </ul>
令和2年 12月2日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介助食器の購入について</li> <li>・噛み辛い食材について</li> <li>・選択食の対応の変更</li> <li>・正月料理について</li> <li>・その他</li> </ul>
令和3年 2月3日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択食の対応について</li> <li>・クリスマス会のデザートについて</li> <li>・正月についての報告</li> <li>・今年度の反省</li> <li>・今年度の目標の振り返り</li> <li>・その他</li> </ul>

## 24 防災委員会

本年度は新型コロナウイルス感染予防のため、施設内の実地訓練および吹上自治会との合同防災訓練を実施することができませんでした。

密集を避けるため、実地訓練は行わず、フロア会議内等における映像視聴とリアクションペーパーの提出による机上訓練形式としました。

今後 30 年以内に南海トラフ地震、首都直下地震、富士山噴火等大災害が予想されています。それらに対応し可能な限り被害を少なく抑えるためにも防災訓練は非常に重要な意味を持ちます。緊急時に対応できるよう役に立つ防災訓練、知識の習得が今後の課題となります。

### 防災訓練実施内容

実施日	参加人数	訓練内容
令和 2 年 8 月 26 日	職員 15 名	防災訓練 机上研修(火災発生時の対応について映像視聴)
令和 2 年 8 月 26 日	職員 4 名	防災訓練 机上研修(火災発生時の対応について映像視聴)
令和 2 年 9 月 30 日	職員 12 名	防災訓練 机上研修(火災発生時の対応について映像視聴)
令和 2 年 11 月 30 日	職員 5 名	防災訓練 机上研修(火災発生時の対応について映像視聴)

## 25. 褥瘡予防委員会

毎週第3金曜日午前を開催しました。

前年度から引き続き、陰部、臀部洗浄を強化し創部の清潔保持、オムツ内の環境を整え褥瘡の発生、悪化の予防に努めてきました。

安楽な体位変換、体圧分散、除圧の検討をし、褥瘡ケア用クッションを増やし、利用者のニーズに合わせて検討をしてきました。そのことにより、褥瘡の発生、予防に大きくつながりました。また、栄養不良により褥瘡のリスクの高い利用者に対し栄養補助食品の検討等をしてきました。

理学療法士、機能訓練指導員によるシーティング、ポジショニングの見直し、栄養士、介護職員との連携を図り本年度も更により一層の予防対策を心掛けて行きたいと思っています。また、職員の知識を高めるために、定期的な褥瘡予防研修を行いたいと思います。（

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年4月17日	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者1名の経過報告。</li> <li>・全身状態不良で褥瘡リスク高い方1名の予防対策。</li> <li>・臀部ただれ繰り返す方6名 予防周知。</li> <li>・Alb 低値6名→3月採血結果で改善報告、高リスク除外。</li> </ul>
R2年5月15日	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者1名の処置、経過報告、今後の対応策について</li> <li>・骨折手術後退院者1名に対する今後の対応策について</li> <li>・発赤、びらんに対しての早めの処置、原因見極め、対応の見直し。</li> </ul>
R2年6月19日	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者2名の処置、経過報告、今後の対応策</li> <li>・全身状態不良、終末期の方、危険リスク高いので予防周知</li> <li>・オムツかぶれ、びらん報告増えており、褥瘡出来やすい部分の除圧、皮膚保清を周知。</li> </ul>
R2 7月17日	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者2名、経過報告、今後の対応策</li> <li>・下肢リンパ浮腫、発熱、食欲不振にて状態不安定1名の方に対する対応策</li> </ul>
R2 8月21日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者2名の経過報告、今後の対応策</li> <li>・腫に繰り返し水疱処置1名 予防対応策</li> <li>・右下腿、鼠経の腫瘍処置1名、対応について</li> </ul>
R2 9月18日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者2名の経過報告、今後の対応策</li> <li>・新入所1名、褥瘡処置中の方：栄養面、ポジショニン</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
		ング、処置内容見直しし、増悪予防、治癒に向けての対応策
R2 10月16日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡対応2名 治癒評価し再燃予防周知</li> <li>・先月新入所褥瘡保持者1名の、経過報告、処置見直し</li> <li>・健診結果 産業医 確認</li> </ul>
R2 11月20日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者1名の経過報告、今後の対応策。</li> <li>・褥瘡リスク高い方3名、危険因子への配慮、予防対策</li> </ul>
R2 12月18日	13名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者1名の処置経過報告→治癒評価で再燃予防周知</li> <li>・褥瘡リスク高い方2名 予防周知</li> </ul>
R3 1月15日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先月治癒し方、再燃なしで再度予防徹底周知</li> <li>・新入所（胃瘻）1名 栄養見直し 今後の対応策</li> <li>・退院者1名の対応策 Alb 低値 E食提供</li> </ul>
R3 2月19日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡保持者1名の処置、経過報告、対応策（1月下旬退院者1名→2月中旬逝去までの報告）</li> <li>・新入所2名 リハよりベッド上ポジショニング指導</li> </ul>
R3 3月19日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡治癒後（再燃注意、保護観察）の2名、一時再燃傾向あり意識して対処し経過良の報告と今後の対策</li> <li>・新入所1名 褥瘡歴あり 注意喚起</li> </ul>

## 26. 入浴委員会

利用者の健康状態を把握し「安心、安全、安楽」に入浴して頂けるよう努めてまいりました。今年度はコロナもあり利用者への感染対策として換気、消毒を行い各フロアシャワーブースで利用されている方をわけて入浴介助を行いました。

衛生面、劣化に伴いマットや安全ベルトを購入しカビ対策や取り扱いに対し取り組んでまいりました。

次年度も安心して入浴して頂けるよう職員同士、声掛けを行い事故の無いよう努めて行きたいと考えております。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
R2年6月17日	4人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴時のマスク着用について</li> <li>・入浴時換気、水分補給について</li> <li>・一般浴留守とのマットを外さず洗っていく</li> <li>・入浴専用の防水シーツの購入</li> <li>・リフト浴の入れ替えについて</li> <li>・音楽を流していないので音楽を流していく</li> </ul>
R2年8月19日	6人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフト浴マット購入について</li> <li>・機械浴の清掃について</li> <li>・一般浴、機械浴の入浴剤について</li> <li>・入浴前の全身観察と着脱について</li> <li>・入浴時のマスクについて</li> <li>・利用者の処置、保湿について</li> </ul>
R2年10月21日	5人 出席人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフト浴、ストレッチャー浴のマットの乾燥方法</li> <li>・リフト浴、ストレッチャー浴の取り扱い方法、日常のお手入れ法の再確認</li> <li>・入浴で使用するクッションの検討</li> <li>・入浴剤の湿気が無い状態で保管できるケースの購入検討</li> </ul>
R2年12月16日	7人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般浴、機械浴マット乾燥方法の結果、職員によるアンケート結果</li> <li>・一般浴、午前、午後で新しくお湯の入れ替えの検討</li> <li>・浴室の大掃除</li> <li>・備品の見直し</li> </ul>
R3年2月10日	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の課題の結果</li> <li>・今年度の反省</li> </ul>

## 27. マニュアル策定委員会

平成 29 年度に業務マニュアル作成委員会が発足し、今年で 4 年目を迎えました。

通常業務と並行してこなさなくてはならない厳しさがありましたが、各部署で業務マニュアルの作成、業務の標準化を進めてきました。そして、今年度からようやく完成したマニュアルの運用を開始することができました。

マニュアルは完成して終わりではなく、運用しながら改善していくことが重要です。マニュアル策定委員会が中心となって、各委員会やクラブ担当と協力しながら継続的な見直し・更新を行っています。

### 会議開催状況と主な検討事項

※新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止の為、第一回目となる 5 月の開催は中止、7 月の開催となる。

開催日	出席人数	主な検討事項
令和 2 年 7 月 2 日 (木)	8 名	<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度の取り組みについて</li><li>・各課進捗状況について</li><li>・マニュアルの一部書式変更について</li><li>・マニュアル管理番号について</li><li>・業務マニュアルの見直し・変更について</li><li>・変更したマニュアルの提出方法について</li><li>・業務マニュアルファイル配布に向けて (完成したマニュアルの運用開始)</li></ul>
令和 2 年 9 月 3 日 (木)	9 名	<ul style="list-style-type: none"><li>・各課進捗状況について</li><li>・介護課 マニュアル更新報告</li></ul>
令和 2 年 11 月 5 日 (木)	7 名	<ul style="list-style-type: none"><li>・各課進捗状況について</li><li>・介護課 マニュアル更新報告</li></ul>
令和 2 年 1 月 7 日 (木)	9 名	<ul style="list-style-type: none"><li>・各課進捗状況について</li><li>・コピー用紙のコスト削減について</li></ul>
令和 2 年 3 月 4 日 (木)	10 名	<ul style="list-style-type: none"><li>・各課進捗状況について</li></ul>

## 28. 行事委員会

- ・今年度は新型コロナウイルスの流行により行事委員会の始動も6月からとなり、地域：家族：ボランティアが参加できる行事が中止もしくは縮小し行いました。
- ・昨年度行った他施設交流は今年度新型コロナウイルスの影響で実現は出来なかったが地域に根付いた施設として次年度以降も交流事業を行いたいと思います。
- ・計画書14日前、各フロアの動き7日前、報告書7日後まで提出を目途に運営しました。
- ・昨年度の取り組みにより行事計画から実施、報告までのスキルを委員会全担当者間で共有することが出来ました。
- ・地域行事(自治会、祭りなど)、学校行事も新型コロナウイルスの流行により中止になり、緊急事態宣言の発令と共に外出支援の活動も出来ない状況にありました。

月	行事名	開催日	参加人数	実施内容	備考
4月	つつじ見学	15日 22日	6名	計画をしていたが新型コロナウイルス流行により緊急事態宣言に伴い中止。	
5月	青梅大祭等			中止。	新型コロナウイルス流行、緊急事態宣言に伴い大祭も中止となった。
6月	アジサイ見学等			中止。	新型コロナウイルス流行に伴い中止となった。吹上菖蒲園の菖蒲を頂き、苑で鑑賞された。
7月	やすらぎの家 夏祭り	25日	46名	2階利用者参加 1階多目的ホールで職員が製作した射的や金魚釣りなどを体感して頂く。	恒例のやすらぎの家の夏祭りは新型コロナウイルスの流行に伴い規模を縮小して行う事になり、家族や地域、ボランティアは参加しない事になった。
8月	やすらぎの家 夏祭り	1日	43名	3階利用者参 1階多目的ホールで職員が製作した射的や金魚釣りなどを体感して頂く。 16時15分～狭山グリーン太鼓を中庭で演奏を行う。	

月	行事名	開催日	参加人数	実施内容	備考
9月	敬老祝賀会	19日	98名	各フロアにて賀寿者紹介、施設長からお祝いの言葉、井上信二衆議院議員からの祝電紹介、賀寿者代表へ花束贈呈を行い、乾杯をして祝い善を召し上げて頂く。 祝い善の献立の梅ゼリーは夏に利用者数名で作った梅ジュースを使用する。	恒例のやすらぎの家の夏祭りは新型コロナウイルスの流行に伴い規模を縮小して行う事になり、家族や地域、ボランティアは参加しない事になった。
10月 11月	やすらぎの家 文化祭			中止	例年10月後半から文化祭を行っていたが今年度は新型コロナウイルスの流行があり、青峰学園などからも展示物の掲示はないとの事。外部からの見学者は受け入れも出来ない為中止となる。
11月	焼き芋大会	18日	29名	各フロアごとに利用者に1階多目的ホールに降りてもらい、新聞紙とアルミホイルで芋を包んでもらう。包んでもらった芋を多目的ホールの外に出て炭が入ったドラム缶に入れて、焼けていく様子を見ながら外の冷たい風や焚火の暖かさを肌で感じて季節感を味わってもらった。 ・焼いた芋はその日のおやつ時に提供し、全利用者に召し上がってもらった。	
	秋の外出支援	19日	2名	今寺天皇塚水田までドライブし、車窓から外の景色を眺めて頂く。	水田近くを散策する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、車窓から外を眺めて頂く形になりました。
12月	クリスマス会	23日	全利用者	本来なら家族も参加してのクリスマス会ですが、今年度はクリスマスのティータイムと称し、デザー	

月	行事名	開催日	参加人数	実施内容	備考
				トアラカルトを 8 品用意。 栄養課が作成した、 アップルパイ、フルーツタルト、ティラミス、抹茶ムース、リンゴケーキ、かぼちゃプリン、すももヨーグルト、葡萄ゼリーを用意、お好きなものを選んで頂き召し上がって頂く。 飲み物も、ホットコーヒー、紅茶、リンゴジュース、オレンジジュースの中から選んで頂いた。	
1 月	お正月イベント	6 日	24 名	リハビリ課が主体となって行う。 職員たちが神主となり御祈禱 行い、参拝して頂き、おみくじ を引いて頂きました。	
2 月	節分祭	3 日	全利用者	季節の節目である節分をご利用者様と祝い、各デイルームにて鬼に扮した職員にめがけボールを投げて頂いた。年男年女の方には袴を着けて頂き、記念撮影を行った。各居室を廻り、居室で過ごされていた方にも雰囲気を楽しんでいただき、写真撮影を行った。通常のおやつ以外に卵ボーロを用意し召し上がって頂いた。 尚、昼食は節分の特別食を提供した。	
3 月	観桜週間	22 日～ 4 月 4 日	全利用者	各フロアに桜をイメージした装飾を施し、生花を購入して各フロアに飾る。 桜の満開に合わせ記念撮影を行い、リハビリ課もタイムスケジュールを作り記念撮影を行った。 栄養課からは春をイメージした抹茶のデザートをおやつに提供する。各フロアのデイルームや廊下などに桜の風景写真展示を行った。	

## 29. 連絡調整会議

令和 2 年度連絡調整会議は毎月第四木曜日に各部署責任者が集まり、施設全体の検討課題、スケジュール等の調整を行ってきました。

連絡調整会議では事業を進める上での全部署の責任者を集め、スケジュール調整や全体に周知しなければならない課題等の調整、意思統一を図る重要な機能を果たしています。

令和元年度は地域包括ケア強化法に基づき、包括支援センター、地域との様々な連携の仕組みを構築する活動が多くあり、施設という機能を活かし、地域貢献の新たな仕組みづくりがスタートしました。

連絡調整会議の機能として各部署から全部署に連絡したい内容や検討してほしい内容を伝える役割があります。連絡調整会議は施設が一つの組織として機能するための重要な役割を果たす会議です。

令和 2 年度の検討された事項は以下のようになっています。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和 2 年 4 月 23 日	14 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動について</li> <li>・歯科診察日について</li> <li>・令和元年度事業報告の作成について</li> <li>・コロナウイルス対策と今後の課題について</li> <li>・夏祭りについて</li> <li>・理事会、評議員会について</li> <li>・委員会等会議について</li> <li>・オンライン診療、面会の導入について</li> <li>・保育園休園中の職員への所得補償について</li> <li>・買い物等の外出について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和 2 年 5 月 28 日	15 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動について</li> <li>・歯科診察日について</li> <li>・緊急事態宣言後の対応と課題</li> <li>・カンファレンス、会議の実施方法</li> <li>・理事長室の使用用途</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年6月25日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動について</li> <li>・歯科診察日について</li> <li>・今後の感染予防対策と課題</li> <li>・研修について</li> <li>・医療機関の変更について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和2年7月23日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動について</li> <li>・今後の感染予防対策と課題</li> <li>・慰労金について</li> <li>・ウォーターサーバーの導入検討について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和2年8月27日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動について</li> <li>・歯科診察日について</li> <li>・今後の感染予防対策と課題</li> <li>・慰労金について</li> <li>・ウォーターサーバーの導入検討について</li> <li>・苑内研修の実施について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和2年9月24日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動について</li> <li>・個人情報の取扱いについて</li> <li>・今後の苑内研修について</li> <li>・今後のコロナウイルス対応について</li> <li>・大掃除について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和2年10月22日	14人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉施設における感染拡大防止のための留意点</li> <li>・今後の苑内研修について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和2年11月26日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策</li> <li>・今後の苑内研修について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和2年12月24日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策</li> <li>・来年度事業計画および予算案について</li> <li>・今後の苑内研修について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和年1月28日	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・行事等の進捗状況・経過説明及び今後の予定</li> <li>・人事異動</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策</li> <li>・令和2年度事業計画および予算案について</li> <li>・介護報酬の改定について</li> <li>・今後の苑内研修について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>
令和3年3月25日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・社会貢献担当</li> <li>・人事異動</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策</li> <li>・令和3年度事業計画について</li> <li>・令和2年度事後報告の作成について</li> <li>・介護報酬加算の算定について</li> <li>・時間外業務、タイムレコーダーの設置場所、三六協定について</li> <li>・各部署からの報告</li> </ul>

## 30 厨房会議

基本作業手順・調理技術・安全衛生・緊急時の対応及び非常食についての検討を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染の対応により、行事イベントについて作業分担・内容・勤務時間の予定表を作成し状況を話し合いました。また感染症発生時の対策として、食材やディスポ食器の準備や緊急時の給食依頼について確認をしました。その他、新しい洗浄機の使用にあたり各分担の作業の見直し及び給水温度・洗剤量を協議しました。

反省としては、日常の業務の中でも基本作業、手順にバラツキが見られる為、引き続き、調理の基本・理論を把握し、調理技術及びサービスの向上に努めて行きたいと思います。

### 会議開催状況と主な検討事項

開催日	出席人数	主な検討事項
令和2年 9月30日	12名	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災訓練研修について</li><li>・緊急時ガス遮断弁解除手順についての確認</li><li>・ヒヤリハット・事故防止対策について</li><li>・勤務中の怪我対策について</li><li>・新洗浄機の使用方法</li><li>・各ポジションの役割分担確認</li><li>・その他</li></ul>
令和3年 1月18日	7名	<ul style="list-style-type: none"><li>・シャッター工事の為の外部給食令和2年3月30日 昼食・夕食の提供について</li><li>・緊急時ガス遮断弁解除手順についての確認</li><li>・各勤務の役割分担</li><li>・来年度購入希望の備品について</li><li>・新型コロナウイルスに対する感染予防対策</li><li>・その他</li></ul>

### 31. えがおくらぶ

「よく食べ、良く寝て、よく笑う。笑う門には福来る。」を合言葉に、健康には3つの健康が必要、その健康とは身体健康、頭の健康、心の健康、その為には健康体操で身体健康を。脳トレで頭の健康を、合唱で心の健康を育むといった取り組みをご利用者とともに行いました。中でも今年度はお琴の演奏を職員が行うことにより、職員との関係性づくりにもつながりました。

実働としては新型コロナウイルスに対しての感染症予防もありフロアごとの実施が求められたり、内容の変更が求められたりといったところに関しても各部署と協力し実施できました。

感染症予防策を取りながらの活動でありながらも、参加されたご利用者は1年を通して常に笑顔で参加して頂くことで質の高い生活にも影響も及ぼしたのではないかと考えられます。

例年このえがおくらぶには様々な形でボランティアの方にも協力して頂き、活動を行ってきたが、今年度はそれが実施できませんでした。今後は社会情勢を見据えて施設としてボランティアの受け入れが可能になった際には再度ボランティアの活動の場としても機能できるように活動にしたいと思います。

#### ○活動実績

実施日	参加人数	活 動 内 容
4月8日(水) 10:00~11:00	38名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
4月22日(水) 10:00~11:00	40名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
5月6日(水) 10:00~11:00	36名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
5月13日(水) 10:00~11:00	36名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
5月20日(水) 10:00~11:00	32名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
5月27日(水) 10:00~11:00	32名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
6月3日(水) 10:00~11:00	29名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
6月10日(水) 10:00~11:00	21名(3階対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
6月17日(水) 10:00~11:00	16名(2階対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱

実施日	参加人数	活 動 内 容
6月24日(水) 10:00~11:00	17名(3階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
7月1日(水) 10:00~11:00	21名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
7月15日(水) 10:00~11:00	18名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
7月29日(水) 10:00~11:00	22名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
8月4日(水) 10:00~11:00	23名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
8月19日(水) 10:00~11:00	24名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
9月2日(水) 10:00~11:00	30名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
9月30日(水) 10:00~11:00	21名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
10月7日(水) 10:00~11:00	26名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
10月21日(水) 10:00~11:00	18名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
11月4日(水) 10:00~11:00	22名	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
12月2日(水) 10:00~11:00	15名(2階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
12月16日(水) 10:00~11:00	20名(2階 対象)	健康体操、お琴の音に合わせての合唱、お正月飾りの作成
令和3年 1月6日(水) 10:00~11:00	15名(2階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
1月27日(水) 10:00~11:00	16名(3階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
2月3日(水) 10:00~11:00	17名(2階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
2月10日(水) 10:00~11:00	19名(3階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱

実施日	参加人数	活 動 内 容
2月17日(水) 10:00~11:00	19名(2階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
2月24日(水) 10:00~11:00	17名(3階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
3月3日(水) 10:00~11:00	20名(2階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
3月17日(水) 10:00~11:00	19名(3階 対象)	健康体操、シナプソロジー、カホンのリズムに合わせての合唱、お琴の音に合わせての合唱
3月24日(水) 10:00~11:00	10名(2階 対象)	障害者雇用担当2名での「笑いヨガ」、「お琴の演奏」など
参加利用者数延べ709名		

## 32. 音楽療法

予定では毎月第2・第4水曜日に2名のセラピストの方に来苑して頂いていましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が2回あり、感染予防ために活動回数が例年の半分以下でした。

毎回挨拶・季節や天気の話から始まり、季節の歌・歌謡曲等を唄い、曲に合わせてストレッチ体操を行っています。また色々な楽器を使い演奏を楽しみながら歌を唄い、皆さん真剣に取り組まれています。

先生との掛け合いで笑いが起こり、普段感情を表に出さない利用者様も声を出して唄われていました。

### クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
R2年 7月8日	18名	内容：「夏は来ぬ」「七夕様」「体操」「星降る街角」「浜辺の歌」「ボサノバ」「七夕の歌」「見上げてごらん夜の星を」「ふるさと」を歌われました。
R2年 7月22日	26名	内容：「われは海の子」「知床旅情」「炭坑節」「君といつまでも」「リズム遊び」「真っ赤な太陽」「アロハオエ」「あざみの歌」を歌われました。 ベルやタンバリン等の楽器を使いながら歌を唄ったりマイクを使って歌を唄ったりして楽しい様子でした。
R2年 8月12日	25名	内容：「海」「鐘の鳴る丘」「隣組」「長崎は今日も雨だった」「カルメン」「イパネマの娘」「ソーナイス」「恋のバカンス」等を歌、楽器、体操等で歌う。
R2年 8月26日	29名	「花火」「水遊び」「冠は君に輝く」「東京キッド」「影を慕いて」「リズム遊び」「東京音頭」「九州炭坑節」「湖畔の宿」「夕日」「ふるさと」を唄いました。 歌いながらビニール袋での風船バレーや季節の食べ物の話をしました。
R2年 9月23日	30名	内容：「十五夜お月さん」「小さい秋」「船頭小唄」「月がとっても青いから」「村祭り」「東京行進曲」「赤とんぼ」 季節にまつわる話をし、利用者に問いかける回想法を行い、歌に合わせベル、カスタネット、タンバリンを使い歌う。
R2年 10月14日	26名	内容：「小さい秋見つけた」「里の秋」「古城」「いい湯だな」「草津節」「クシコスポスト」「青春時代」「夕焼け小焼け」 秋の歌と関連づけ食べ物を利用者に問いかける回想法を行

実施日	参加人数	活 動 内 容
		う。また、歌に合わせた振りをしたり、楽器を使いながら歌う。
R2年 10月28日	27名	内容：「十五夜お月さん」「高校三年生」「ブルーライトヨコハマ」「港の見える丘」「よこはまたそがれ」「草津節」等を唄われました。 歌に関連付け、青春時代18歳の頃は何をしていたか問いかける回想法を行い、楽器等を使い、歌に合わせリズムを取る等行う。
R2年 11月11日	24名	内容：「まちぼうけ」、「旅愁」「りんどう峠」「この世の花」「ラデツキー行進曲」「ソーラン節」「別れの一本杉」「ふるさと」等を歌い、ストレッチ体操や局に合わせ楽器でリズムを取る等を実施しました。
R2年 11月25日	19名 (2階利用者のみ)	内容：「焚き火」「いつでも夢を」「函館の人」「ラデツキー行進曲」「二輪草」「夜霧よ今夜も有難う」等を唄われ、打楽器の演奏ではタンバリン、太鼓、鈴、マラカスなりこ等あり皆さま思い思いの楽器を選ばれ身体を動かし楽器を鳴らされていました。
R2年 12月9日	18名 (3階利用者のみ)	内容：「冬の夜」「聖者の行進」「津軽海峡冬景色」「函館の人」「ともしび」「よぎりのかなたに」「さざんかの宿」「ふるさと」等を歌い、打楽器の演奏ではタンバリン、太鼓、鈴、マラカスなりこ等あり皆さま思い思いの楽器を選ばれ身体を動かし楽器を鳴らされていました。
R2年 12月23日	18名 (2階の利用者のみ)	内容：「富士の山」「冬景色」「北の宿から」「聖者が街にやってくる」「瀬戸の花嫁」「南国土佐を後にして」「お正月等を歌われる。 皆様歌を唄ったり手拍子をされたり聴いていたりと思ひ思ひの方法で音楽を楽しまれていた様子でした。

### 33. 料理クラブ

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、3回計画していたクラブを見送る結果となりました。予定していた内容を変更し、おはぎや月1回の手作りおやつを提供を行い、全員の利用者に満足して頂けるような対応をしました。

今後の料理クラブは利用者が安心して参加できる状況を確認しながら、クラブ活動を進め取り組む予定でいます。

#### クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 7月29日		テーマ『クレープ』 新型コロナウイルス感染症予防の為中止
令和2年 9月30日		テーマ『餃子』 新型コロナウイルス感染症予防の為中止
令和3年 2月24日		テーマ『ケーキ』 新型コロナウイルス感染症予防の為中止

### 34. あみものクラブ

コロナウイルスが日本も含め世界中で蔓延をしている中で、近隣の情勢やコロナウイルス感染者数等の動向を確認しながら今年度は活動を行いました。

一時期ボランティアの方の活動の受け入れも中止し、宮川先生の助言やアドバイスを受けながら職員のみ対応を行いました。受け入れが可能な時期は感染予防対策を講じボランティアの宮川先生指導により編み物クラブを行っています。

個々の入居者の状況や能力に応じてかぎ針、棒針、指編み、あやとり等と個別性を大切にしながら取り組んできました。

日程については先生の都合により月1回第1日曜の14:00～15:30迄とし、1階多目的ホールにて行っています。

また、感染予防対策を一貫から、2階3階合同ではなく、各階毎に活動を実施しました。

#### クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 4月	0名	業務の都合により中止
令和2年 5月2日(土) 10時～11時	10名	3階東側ディールームにておしゃべりをメインに編み物をしている。
令和2年 6月	0名	業務の都合により中止
令和2年 7月5日(日) 14時～15時30分	9名	ボランティアの宮川先生はコロナウイルス感染予防策を行いながら、入所者と共に編み物をされている。
令和2年 8月2日(日) 15時～15時30分	8名	ボランティアの宮川先生指導コロナウイルス感染予防策を行いながら入所者の編み物のスピードや状況を確認しながら行っている。入所者の希望に合わせてかぎ針編みや棒針を行う。編み方がわからなくなると先生に声をかけ聞き、共に行っている。
令和2年 9月6日(日) 14時～15時30分	6名	マフラーや、カバンの作成、指編みを行っている。 また、職員が間に入り入所同士でおしゃべりをしながら編まれている。
令和2年 10月4日(日) 14時～16時	5名	指編み、棒針、かぎ針、あやとりなどをして楽しまれている。

### 35-1 2階手工芸クラブ

毎月第1日曜日に早番職員を中心とし、ご利用者様とともに、折り紙や模造紙、花紙等、様々な工作用具を使用し季節にちなんだ作品を制作した。

限られた職員と時間では完成には程遠い為、ほぼ職員達が作成した作品となっていた。本来の目的の「利用者が手工芸を行う」という物から季節を感じられるようにフロア内を飾り付けるという形へと変化していると思われる。

利用者が作成したもので作り上げたものはあまりなかったが、職員と作業する工程で会話や手や脳を動かす事での刺激、季節にちなんだ物を考える事で記憶を辿るなど出来ており、様々な刺激になっている様子だった。

#### クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
2年 4月5日	6名	折り紙で鯉のぼり、新聞紙で兜を作成した。 兜は実際に被って頂き、写真を撮った。
2年 5月3日	8名	牛乳パックを使用し、臥床時の靴下入れを形作り、その周りに折り紙をちぎり貼って飾り付けしていった。
2年 6月7日	4名	折り紙で朝顔を折った。
2年 7月5日	22名	ご自分で書ける方には七夕の短冊を、それぞれ書いて頂いた。書けない方には願い事を伺い、職員が願い事を代筆した。そのまま天井や笹に飾り付けていった。
2年 8月2日	7名	ウサギを折り紙で作成した。それぞれの思う顔を描かれていた。
2年 9月6日	10名	3階と合同で行った。敬老祝賀会で使用する予定のシールやテープ、麻などで花瓶やペットボトルに飾り付けを行い、花瓶を作成した。
2年 10月4日	5名	外からススキを取ってきて模造紙に張り付け、月、ウサギ、団子の貼り絵を行い壁に飾った。
2年 11月1日	4名	クリスマスの飾りの輪っかを、折り紙で作った。
2年 12月6日	4名	ワイヤーにビーズを通し、クリスマスツリーに見立てた飾りを作成した。
3年 1月3日		三が日の為、手工芸は行わず、けん玉やパズル、黒ひげ危機一髪などで遊んだ。
3年 2月7日	6名	花紙を丸めて、桃の花として模造紙に貼りつけた。
3年 3月7日	12名	折り紙で作った桜の花びらの裏面に両面テープを貼り、模造紙に貼りつけ飾った。

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 11月3日(日) 15時～16時30分	6名	指編み、ポシェット、マフラー、帽子など個々に編みたい物を先生と共に編まれている。
令和2年 12月6日(日) 14時～15時30分	9名	毛糸を触る人、糸巻をする人、指編みをする人、かぎ編みや棒編みをする人など、個々の能力や状態に合わせて、編み物をしている。
令和3年 1月	0名	業務の都合により中止
令和3年 2月16日(日) 14時～15時	7名	コロナウイルス蔓延予防の為3階にて実施。 かぎ針以外に棒針で編みたいとの希望者もあり棒針を提供し編んで頂いています。
令和3年 3月	0名	業務の都合により中止

### 35-2 3階手工芸クラブ

毎月第1日曜日に早番職員を中心とし、ご利用者様とともに、折り紙や模造紙、花紙等、様々な工作用具を使用し季節にちなんだ作品を制作した。

限られた職員と時間では完成には程遠い為、ほぼ職員達が作成した作品となっていた。本来の目的の「利用者が手工芸を行う」という物から季節を感じられるようにフロア内を飾り付けるという形へと変化していると思われる。

利用者が作成したもので作り上げたものはあまりなかったが、職員と作業する工程で会話や手や脳を動かす事での刺激、季節にちなんだ物を考える事で記憶を辿るなど出来ており、様々な刺激になっている様子だった。

#### クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
2年5月3日	9名	新聞紙にて兜作りをする。 活動記録として写真撮影行う。
2年6月7日	3名	ペットボトルのふたで花紙を包む。 (のちにこれが花火になる)
2年7月5日	2名	七夕用の飾りの輪っかを折り紙で作る。
2年8月2日	2名	造花を花瓶に生ける。
2年9月6日	10名	2階と合同で行った。敬老祝賀会で使用する予定のシールやテープ、麻などで花瓶やペットボトルに飾り付けを行い、花瓶を作成した。
2年10月17日	2名	モールでとんぼを作成する。
2年12月9日	3名	クリスマスツリーの飾りつけを行う。
3年1月3日	名	三が日の為、手工芸は行わず、歌を聴いたり歌ったりしてゆっくり過ごされた。
3年2月7日	3名	1階多目的ホールにて雛飾りを飾る。
3年3月7日	2名	観桜会に向け、フロアを飾る桜をお花紙で作る。

## 36 華道クラブ

第2、第4日曜日午後から行われるホーム喫茶のテーブルに置く卓上花を前日土曜日もしくはホーム喫茶当日の日曜日に入所者の方に思い思いに生けて頂いています。

今年度はコロナウイルスが世界中で蔓延した事も有り、感染予防に努め各階毎フロアにて実施しました。

活動においては花を通して入所者同士、職員と共に会話を楽しまれ楽しい時間を過ごして頂いています。

ホーム喫茶後は、各階の食堂に卓上花として飾っています。

また、敬老会、クリスマス会、お正月と季節に応じて各フロアの食堂のテーブルに卓上花として入所者と共に生け、季節を感じて頂きました。

### クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 4月11、25日 14時15分～ 15時20分	2階： 12名 3階：8名 計：20名	職員と共に自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 春らしい花が多く、入所者の皆さん笑顔で花に触れ匂いがかがれていました。
令和2年 5月9、23日 13時45分～ 14時50分	2階：7名 3階：8名 計：15名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 今月は新緑を意識された花が多く見られました。
令和2年 6月13、21、27日 14時～14時40分	2階：7名 3階： 13名 計：20名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 花を通して季節を感じ入所者より「今年も半分・・・」との声も聞かれました。
令和2年 7月11、25日 10時～11時 15時～15時30分	2階：7名 3階：7名 計：14名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 夏らしい花が届き、花を通して会話が弾んでいました。
令和2年 8月8、22日 10時15分～10時45分	2階：8名 3階：6名 計：14名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 見慣れない花を見つけ、興味を持つ姿や、生花に触れる事で昔を思い出される入所者もいらっしゃいました。

14時15分～14時45分		
令和2年 9月12、15、26日 10時15分～11時 14時～15時	2階：16名 3階：14名 計：30名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。季節の花でわれこもうがあり、この花は丸く手可愛いわねと入居者の多くが手に取り生けられています。 敬老会に向けてお花を生け、華やかな雰囲気の中で敬老会を各階で行う事ができました。
令和2年 10月10、24日 14時30分～15時	2階：11名 3階：8名 計：19名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 秋らしい花が少しずつ増え、色も少しくすんだ花が入る様になりました。
令和2年 11月7、21日 13時～14時25分	2階：7名 3階：5名 計：12名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 普段参加されない入所者の参加もあり花を通して楽しまれていました。
令和2年 12月12、26、31日 10時～11時 14時～14時45分	2階：19名 3階：15名 計：34名	今年もクリスマス会用、お正月用と計3回開催しました。 クリスマス用はクリスマスカラーを意識し赤・緑・白を中心としてお正月用は金銀の水引と赤・緑・白・松をあしらった花材にてそれぞれ活動を楽しまれました。 松が入る事で新年を迎える事を感じて頂けました。
令和3年 1月9、23日 13時45分～14時15分	2階：10名 3階：5名 計：15名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 新年らしい花があり、花を見る事、触れる事、花の匂いを嗅ぐ事で季節を感じて頂きました。
令和2年 2月13日	2階10名 計：10名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 少しずつ介助される方が増えてきており、会話を楽しみながら事故にならない様配慮を行いました。
令和2年 3月13、27日	2階：8名 3階：6名 計：14名	自身で好きな花瓶を選び、好きな花を手に取りそれぞれ思い思いに生けられています。 花を生けるだけでなく、見る事の楽しみも作りながら季節を感じ、会話を楽しみました。

### 37. 朗読ボランティア

#### クラブ活動実施状況

新型コロナウイルスによる感染症予防策の為、実施することが出来なかった。  
しかし、今後活動ができる状況になった時点ですぐに活動が再開できるように、ボランティアさんとのコミュニケーションが取っていきます。

### 38. アニマルセラピー

本年度よりアニマルセラピーを開始しました。利用者の日常生活にとって多くの余暇活動の選択肢としてもしくは、施設生活においても在宅での日常を思い出して頂くことや、動物と触れ合うことにより、穏やかに、心豊かに過ごして頂く為に開始しました。

犬と触れ合うことにより、積極的な動きや声をかける等あり、また、普段はベッドや車いす上で傾眠状態や反応が緩慢な利用者も開眼し、目で追う、手を伸ばそうとする良好な反応が多くみられるようになりました。

毎週木曜日に実施していますが、利用者も参加の声掛けに対し「行きたい」と前向きな反応が多くあり、期待された効果が出ています。

#### クラブ活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 7月16日(木)	21名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。利用者が犬の名前を呼んだり、手を伸ばし積極的に触れようとする姿がありました。
令和2年 8月6日(木)	20名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。犬に触りながら、思いつき出話や、触れる事により笑顔となる姿がみられた。
令和2年 8月13日(木)	20名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。実施回数を重ねる事により、楽しみにする利用者が増えてきました。利用者も積極的に触れたり、犬に声掛けする姿がみられた。
令和2年 8月20日(木)	25名	・セラピー犬と利用者のふれあいを実施。1回に参加する人数が多いと犬がストレスにより不用意な動きをしたり、見守りが出来なくなる等の問題があるため、1回8名とすることにした。
令和2年 9月3日(木)	29名	・セラピー犬と利用者のふれあいを実施。前回同様、1回の人数を制限し、少人数で行う。また、車椅子利用者と犬の視線が同じくなるように簡易舞台を使用した。
令和2年 9月17日(木)	21名	・セラピー犬と利用者のふれあいを実施。新規入所者3名参加し、犬とのふれあいを楽しみました。
令和2年 9月24日(木)	22名	・セラピー犬と利用者のふれあいを実施。普段は反応が緩慢になりがちな利用者が触れ合っている時は良好な反応を示す様子が見られる。また、回を重ねるごとに楽しみにする利用者が増えていきます。
令和2年 10月1日(木)	20名	・セラピー犬と利用者のふれあいを実施。利用者も楽しみにしていることや、犬の名前を覚えています。また、犬も利用者にも慣れ、車椅子の横で寝そべる等リラックスする様子が見られた。

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 10月8日(木)	21名	・セラピー犬と利用者のふれあいを実施。利用者も参加の声掛けをすると楽しみにしているのか、参加の声掛けをすると、連れて行ってほしいと前向きな反応が多くみられるようになっていきます。
令和2年 10月15日(木)	21名	・セラピー犬と利用者のふれあいを実施。より安全に触れ合えるように、利用者の横に椅子を置き、職員が犬を抱いて、利用者と触れ合えるように工夫をしました。
令和2年 10月22日(木)	21名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。利用者も犬とのふれあいに慣れ、犬に顔を近づける様子や、セラピー犬が利用者の車椅子や座る椅子に近づくことや、利用者自身がセラピー犬のリードを持ち散歩することもできるようになりました。
令和2年 10月29日(木)	22名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。毎回参加している利用者は楽しみにするようになり、犬が苦手と話されていた数名の利用者も数回のふれあいで、苦手という言葉より、「慣れてきた」と話し、触れ合うことを楽しくできるようになっています。
令和2年 11月5日(木)	19名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。介助する職員も実施に慣れ、利用者と犬が安全に触れ合える環境設定やできるようになっています。 利用者で普段はあまり発語なく、動きの少ない利用者も犬とのふれあい時は発語も多く、動きも多くみられる等良好な反応があります。
令和2年 11月12日(木)	23名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。普段傾眠傾向で反応の乏しい利用者が時間と共に発語があり、自ら手を伸ばす等の行動があることや、認知症の利用者で理解力の低下した方も犬と触れ合う時は自らの意思で犬に積極的に触れる様子が見られました。
令和2年 11月19日(木)	18名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。3階の利用者中心に実施。新規入所者で犬好きな方は犬の名前を呼び、満面の笑みで触れ合っていた。 普段あまりクラブ等参加しない利用者もドッグセラピーだけは参加する等、利用者の余暇活動の選択肢が増えたようです。
令和2年 11月26日(木)	11名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、2階と3階の利用者の接触を避け実施する。普段下肢の痛みを訴えています利用者も、犬と触れ合っている時は痛みを忘れていたと話す等や慣れてきた利用者は犬におやつを与える等実施しました。

実施日	参加人数	活動内容
令和2年 12月3日(木)	12名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。3階の利用者のみで実施。今回参加した利用者は自宅で犬を飼っていた利用者が多く、認知症の方で飼っていた犬の性格の話をしたり、普段生活するフロアでは見られない、犬に対し積極的な動きがみられました。
12月10日(木)	16名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。2階利用者を対象に行いました。体調により離床時間が短くなっている利用者が参加しましたが、参加している間笑顔や発語が多くありました。また、参加した利用者は犬に顔を近づけ、視線を同じくするなど積極的な接触を行っていました。
12月17日(木)	16名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。3階利用者を中心に実施。犬好きの利用者が多く参加したため、積極的なふれあいを実施。また、リードを持ち散歩する利用者もいました。
12月24日(木)	16名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。2階利用者を中心に行う。食事の時も手があまり動かないという利用者も犬に触れる時には手を大きく動かし、犬に触れる動作があるなど良好な反応が見られました。
1月7日(木)	16名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。3階利用者中心に行う。3階利用者は犬とのふれあいを楽しみにしている方が多く、また、普段あまり腕を伸ばす事が少ない方も、腕を伸ばし犬に触れる行動をする等見られました。
1月14日(木)	15名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。2階利用者中心に行いました。初期と比較すると利用者も犬も慣れてきた様子で、犬の顔を包み込むように触れるようになりました。また、普段フロアでは傾眠している事が多い利用者も目を開け、犬の動きを追視するなど、良好な反応が多くありました。
1月28日(木)	11名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。3階利用者中心に行う。犬が嫌いという話された利用者が参加しましたが、実際に犬に近づくと笑顔で撫でていました。また、普段開眼の少ない利用者も犬を近づけると開眼し、追視したり、上下肢を動かす等動きが見られました。
2月4日	12名	・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。2階利用者中心に実施しました。 回を重ねるごとに利用者が犬と触れ合う距離が短くなり、おでこで犬の顔を合わせるたりし、犬もしっぽを振り喜ぶ姿が見られるなど、スキンシップのより多くなっているようです。

実 施 日	参加人数	活 動 内 容
2月11日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。3階利用者中心に行いました。毎回参加を楽しみにしている利用者が多くなりました。認知症の方が飼っていた犬の話を積極的にするなど、回想法としても効果があるようです。</li> </ul>
2月18日	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セラピー犬3匹と利用者のふれあいを実施。2階利用者中心に行いました。1匹の犬を台車に乗せ、利用者と接しやすくしたため、利用者がより近いところで触れることができました。毎回参加している利用者はドッグセラピーへの参加意欲を示すようになり、前回参加した時より笑顔で触れ合えるようになっています。</li> </ul>

### 39. ホーム喫茶

毎月第2・第4日曜日の月2回、14:00～1階多目的ホールにて行っています。基本第2日曜日は洋菓子の日としてケーキを用意し、第4日曜日は和菓子の日として季節ごとに異なるねりきりときんとんを用意しています。飲み物はコーヒー・紅茶・ココア・フレーバーティー・ショウガ湯・レモネード・はちみつゆず・オレンジジュース・リンゴジュース・カルピス・コカコーラ・ノンアルコールビール等を用意しその中からお好きな物を選んで頂いています。ご利用者のお好みの日本酒をお預かりし提供することもしています。また、糖質制限のある方のため糖質 OFF のお菓子も用意しています。さらにご利用者に選ぶ楽しみを持って頂くため毎回異なるサイドメニューを用意しています。

ご利用者に季節を感じていただくため夏はかき氷、冬は肉まんやあんまん、やきいもの提供も行いました。

コロナウイルスによる緊急事態宣言が初めて発令された令和2年4月には1階での開催が難しくなり各階での茶話会形式でホーム喫茶を行いました。その後3階の会議室を使用し各階ごとの実施を行い6月より従来の1階の多目的ホールでの実施を行うようになりました。各階ごとの入れ替えを行い除菌換気しながらホーム喫茶を行っています。

ホーム喫茶担当の職員がメインとなり各課の協力のもと運営することが出来ています。ご利用者に美味しいものを召し上がって頂きゆったり寛いでいただける時間を提供しています。

#### ホーム喫茶活動実施状況

実施日	参加人数	活動内容
R2年 4月5日	44名	茶話会方式で各階ごとにおやつと飲み物の提供を行いました。
R2年 4月12日	29名	3階会議室で人数を制限してパンケーキ今川焼等のおやつとサイドメニューを選んで召し上がって頂きました。
R2年 5月10日	25名	3階会議室でケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 5月24日	38名	3階会議室をリニューアルし和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 6月14日	37名	1階多目的ホールでケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 6月28日	39名	1階多目的ホールで和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 7月12日	39名	1階多目的ホールでケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。

R2年 7月26日	33名	1階多目的ホールで和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 8月9日	30名	1階多目的ホールでケーキ4種類とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 8月23日	38名	かき氷、アイス、くずきり、スイカ、梨の中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 9月13日	32名	ケーキ4種類とワッフルやきんつば等のサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 9月27日	31名	和菓子とサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R2年 10月11日	38名	ケーキ4種類とワッフル、羊羹等のサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
R2年 10月25日	32名	和菓子とドーナツ、おまんじゅう等のサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
R2年 11月8日	31名	ケーキ4種類とわらび餅、おまんじゅう等のサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
R2年 11月22日	31名	和菓子とドーナツ、おまんじゅう等のサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
R2年 12月13日	34名	ケーキ4種類とわらび餅、おまんじゅう等のサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
R2年 12月27日	34名	肉まんスチーマーを使用して肉まんあんまんピザまんの提供を行い、おまんじゅう等のサイドメニューの中から選んで召し上がって頂きました。
R3年 1月10日	37名	冷凍しておいたドミノピザを解凍しスチーマーを使用して提供しました。
R3年 1月24日	36名	スチーマーを使用してやきいもの提供を行いました。
R3年 2月14日	40名	ケーキ4種類とわらび餅、おまんじゅう等のサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
R3年 2月21日	39名	和菓子と肉まんあんまんの提供を行いました。
R3年 3月14日	40名	ケーキ4種類とわらび餅、おまんじゅう等のサイドメニューから選んで召し上がって頂きました。
R3年 3月28日	37名	和菓子と肉まんあんまんの提供を行いました。

#### 40 ボランティア・地域貢献担当

今年度においても「開かれた施設づくり」というテーマの元、有償・無償を含めボランティアさんの受け入れ、近隣の学校・保育園との関わり、地域自治会や昨年度から始まっている第二層協議体としての活動や、青梅の認知症家族会「青梅ネット」の活動の参加を行ってきました。

並行して当施設として初の試みである「障がい者雇用」については「障がい者雇用担当」を専門に置くことで、高齢者の生活の質の向上にも関わりのある重要な動きを取ることが出来ました。

初の試みというところから様々な関連団体と連携し、支援体制を整備しながら介護課の業務負担の軽減にも取り組んでいき、主にレクリエーション活動の充実、リネン交換の実施を計画的に行うことが出来ました。

レクリエーションについては「スペシャルイベント」を年4回実施した。内容としては主に「お琴の演奏会」を実施。外部のボランティアさんの受け入れを制限している中でこのイベントを企画から・運営・当日の進行に至るまで担当して頂くことでご利用者の生活の質の維持に努めてきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で活動の制限があり、その都度社会情勢と施設としての方向性を確認しながら慎重に進めてきました。

感染症対策の影響を強く受ける中でご利用者のストレスの軽減を目的に動きを止めず、できる方法をその都度検討し、実施方法を考えながら活動を行ってきました。

#### ■障がい者雇用を進めるにあたって

令和二年度は新たに4月より障がい者雇用を進めてきました。障がい者雇用担当を置き主に介護業務の軽減（リネン担当として）の動きとレクリエーションの充実によりご利用者の生活の質の向上を目的にした動きを行った。また、障がい者雇用を進めるにあたって「パソナハートフル」さんの支援を6ヵ月受け、並行して就労支援センターと対象者の卒業校である青峰学園さんとの連携を取り、業務をどのように進めていくかなど障害特性に応じた業務の組み立てを行ってきました。新型コロナウイルスによる感染症予防策を取りながらのサポートという部分では、電話やメールでのサポートや本来の形とは形を変えたサポート受け、計画的に支援体制を整え、対象者が施設での仕事に取り組めるように業務の組み立てを行ってきました。

#### ○関連機関との連絡調整

日程	関連団体	備考
6月10日	パソナハートフル来苑 顔合わせ等	これ以前はメールと電話でのサポートとなっていた。
7月8日	パソナハートフル来苑 経過報告・助言指導	
8月19日	就労支援センターあすく、青峰学園来苑 経過報告・助言指導	
8月26日	パソナハートフル来苑 経過報告・助言指導	

10月21日	就労支援センターあすく、青峰学園来苑 経過報告・助言指導	
12月3日	就労支援センターあすく、青峰学園来苑 経過報告・助言指導	支援計画の情報共有
令和3年 2月26日	就労支援センターあすく、青峰学園来苑 経過報告・助言指導	担当者の変更

障がい者雇用を始めるに当たってのサポートを様々な助成を受けることによりスムーズに業務に入ることが出来てきている。背景に障がい者雇用を進める為に社会全体として助成するという支援体制があった。卒業した学校は3年間の支援を行う事と、その機能を徐々に就労支援センターに移行していくといったシステマ的な部分もあり、今後も連携を取りながら障がい者雇用を進めていきます。

毎日の朝礼の実施、1日の日誌の作成、振り返り会の実施といった1日の流れを作るとともに、1カ月の振り返りを行い、翌月の目標を立て、意識することで社会人としての成長をしていくシステムも作りました。

その資料を元に関連機関との連携に関してもスムーズに情報を共有することが出来ました。

○施設内における役割について

- ・リネン交換業務⇒今まで介護課の業務として行っていました。

○充実したレクリエーション活動について

- ・スペシャルイベントの実施

実施日時：5月31日、8月30日、11月29日、令和3年1月31日

⇒コロナ渦で音楽演奏ボランティア等の来苑が困難な中で、障がい者雇用担当が中心となり、お琴の演奏会などを企画・運営「スペシャルイベント」を実施することで、ご利用者の楽しみ活動にもつながりました。

- ・制作レクリエーションの実施について

⇒ご利用者に制作レクリエーションの場を提供することで、楽しみ活動の充実を図っていき、また、リハビリ課と連携することで作業療法的な効果も見込め、作業に集中して取り組むこともでき、制作の課題を季節感のあるものにする事により、四季を感じて頂く機会になりました。

また細かい作業に関しては制作ボランティアさんに活動をして頂くことで様々な制作レクリエーションに進展することが出来ました。

作品を学校や保育園と交流するためのツールとして使うことにより関係性がより強固となることになりました。

⇒通年の取り組みとして「牛乳パックの空き箱を使用したはがきづくり」を実施した。作品は年賀状として活用し、ご利用者とご家族をつなぐツールとしても活用した。また制作レクリエーション同様、学校や保育園との連携の強化にもつながりました。

- ・パラスポーツ 「ぼっちゃくらぶ」の運営・実施について

⇒前年度地域の方との交流事業で行った「ボッチャクラブ」を施設内のクラブ活動として実施することでご利用者の生活の中で継続的な楽しみ活動の一つとなりました。「ボッチャ」は吹上地区では青梅市立吹上小学校、青梅市立吹上中学校でも学校の取り組みとして活動を行っていること

から、今後、地域交流のきっかけとしての活動になることも期待される為、今後も継続的に実施していきます。

- ・書道クラブ・えがおくらぶ運営補助およびリハビリ課の効率的な運営の補助について充実  
⇒各クラブ活動において準備と後片付けの作業について担当することで他職種との連携などを行うことで効率的なクラブ運営やリハビリ介入人数の確保にもつながる動きとなりました。リハビリ課との連携については作業療法的な視点に加えて、今後は園芸療法などにも積極的なかわりが期待できます。
- ・介護業務の補助について  
⇒洗濯物たたみなどの介護の間接業務やガーゼたたみなどの看護用務の間接業務に関することも状況に合わせ、状況に合わせてサポートを行ってきました。また、窓清掃などの業務に関しても季節によって活動を実施することが出来ました。

- ・その他の取り組みについて

⇒事務所のサポートについても補助的に担当することもできました。

■ボランティアコーディネーターとしての活動

新型コロナウイルス感染症予防策に伴い、様々な影響を受けながらボランティアの制限付きの受け入れることで活動を継続的に行ってきました。

有償ボランティアや社会資源である「セブンイレブン売店」の実施については感染症対策による制限されたご利用者の生活の中で少しでも生活の活性化をさせることを目的に実施方法もその都度状況に合わせて実施方法を模索し、できる限りのことを実施してきました。

○書道クラブ

⇒別紙参照

○音楽療法

⇒今年度から「音楽療法」をリハビリの1つの手段としての視点からリハビリ課職員に担当をして頂き、実施しました。別紙参照

○セブンイレブン売店

開催日 7月8日、29日、8月3日、12日、9月23日、10月14日、28日、12月9日、

令和3年1月27日、2月10日、2月24日、3月23日

⇒緊急事態宣言時には従来のような形の売店の実施が困難であった為にパンフレットや、実物の物を見て頂き、注文するといった形での取り組みを行いました。また緊急事態宣言明けには感染症予防としてマスクだけでなく、通常の感染症予防策に加えてフェイスシールドを着用するといった感染症予防策を強化したうえで実施しました。「売店」としての機能にとどまらず、毎週ご利用者の希望に寄り添う形で「買い物ノート」を活用することでご利用者が希望するものをなるべくスムーズに用意することが出来るシステムの構築も模索し、生活上のストレスの軽減にも努めました。

職員のご利用者の希望の買い物事態を制限された期間もあり、その都度その時点でできることを模索しながらなるべくご利用者の生活の質の向上に繋がる為の動きを行ってきました。

○個人ボランティア

活動日	活動内容	備考
令和2年 6月19日	小林様ボランティア説明	
6月24日	小林様 制作レクリエーション補助	季節の制作レクリエーション
6月29日	小林様 制作レクリエーション補助	季節の制作レクリエーション
7月16日	中嶋様 中国語リモートお話相手	
9月3日	鈴木様 制作レクリエーション補助	年賀状の作成
9月14日	鈴木様 制作レクリエーション補助	年賀状の作成
9月25日	鈴木様、大島様 制作レクリエーション補助	年賀状の作成
9月30日	鈴木様、大島様 制作レクリエーション補助	年賀状の作成
10月15日	お話相手ボランティア	職員の家族に対して
10月23日	鈴木様、大島様 制作レクリエーション補助	年賀状の作成

ボランティアの受け入れに関しても感染症予防の対策を取りながら直接ご利用者と接触できない中で制作レクリエーションの補助などの活動を行って頂きました。

また、ご利用者の面会方法としての「リモート」をボランティアとしても活用し「お話相手ボランティア」として、リモートでの傾聴活動にも取り組みました。ボランティア自身が高齢の事も多くパソコンなどを使用した活動に抵抗がある中で、「パソコンに向かってお話をする」といった動きに慣れて頂くことで、ボランティア自身の負担も軽減され、そのことによりご利用者の話し相手になって頂くことで、ご利用者の日々のストレスの軽減にもつなり、生活の質の向上にもつながりました。

○リモート音楽レクリエーション

活動日：6月2日、16日、30日 7月16日 8月13日、20日 9月10日、17日、30日  
10月15日、29日、11月12日、19日、12月10日、17日  
令和3年1月14日、2月11日、18日、3月11日、18日

⇒昨年度は各フロアにて音楽レクリエーションを実施していたボランティアさんにより、ボランティアさんの自宅と施設をオンラインでつなぐことで感染症予防策を取りながら音楽レクリエーションを実施することができました。このような形でもご利用者が童謡唱歌や昔の歌謡曲に触れることで生活の中の楽しみ活動に繋げることが出来ました。

また、3月11日には東日本大震災の被災地である「福島」とオンラインでつなぎ現地で行われている復興支援イベントに参加することができました。このことは感染症対策という視点で様々なことを考えたからこそできたイベントになりました。

この活動の前後に以前より動画作成ボランティアさんの提供して頂いた動画を全体で鑑賞して頂くことも取り組みの一つとして行いました。

■学校・保育園関係

○青梅市立吹上中学校 特別支援学級 3組 との交流事業 「ときわたいむ」

活動日：7月27日、9月14日、10月12日、11月30日、12月14日、12月21日

⇒青梅市立吹上中学校、特別支援学級3組との交流事業である「ときわタイム」は直接ご利用者と生徒の交流が出来ない中、リモートで学校と施設をつなぎ、活動を行いました。中学校自体が緊急事態宣言などの影響で学校生活が計画的にならない状況の中でできる範囲の活動を行うことが出来ました。

制作レクリエーションの内容を学校側と、施設側で合わせることで一緒の取り組みを違う場所で行うといった活動を行う中で、ご利用者と生徒の共通の話題ができ、リモートといった環境的にはコミュニケーションがとりづらい状況ではある中で活動を行うことが出来ました。

#### ○青峰学園高等部 3年 福祉コースの事業の一環として 「福祉実務体験」実施

⇒直接の交流が出来ない中で、福祉コースの方に福祉実務体験の活動として季節感のある手作りの制作物の壁画を作って頂くといった形での関わりとなりました。作品をお持ちいただいた際には生徒の皆様には福祉用具などを使用した体験を行って頂くことでご利用者の気持ちに寄り添って作品に反映して頂くようなプログラムを作成しました。

緊急事態宣言の影響も大きく、満足のいく形では活動を行うことはできない部分もあったが、できる範囲内で工夫して活動を行うことが出来ました。

#### ○大久野保育園 「音楽あそび」の取り組みを通したリモート交流

活動日：6月15日（事前打ち合わせ）、6月16日、10月19日、11月2日、12月7日

令和3年1月25日、2月15日、3月1日

⇒東京都日の出町にある大久野保育園年長組が行っている「音楽あそび」の取り組みをリモートでつなぎ、施設のご利用者と保育園の園児の交流をする機会となりました。通年の交流のきっかけができることで園児の成長をご利用者とともに見届けながら異世代交流をすることが出来るのは「リモート」ならではの事だと考えます。

当施設でボランティアとして活動をして頂いていた先生が保育園でも活動していたために始まった交流ですが、「音楽あそび」の取り組みに限らず、クリスマス前には制作物を送る、年賀状を送るといった様々な視点での交流に進展しました。今後も様々な形での交流を計画的に実現させていくことが期待できます。

#### ■地域関係

吹上自治会の活動への参加をはじめ、様々な地域活動に参加することで施設が社会資源を活用するだけではなく、施設自体が地域の社会資源であるという視点を元に昨年からは行っていきます。「地域包括ケア強化法」にともなう活動で第二層協議体「みんなでつなぐてとてと会」、さらに地域住民の社会資源で、青梅市の認知症家族会「青梅ネット」への活動支援を開始しました。

青梅総合高校定時制の市民講師としての「社会生活と福祉」という強化を年数回担当させて頂くことができ、今後も他分野で社会福祉法人吹上苑として社会貢献活動に取り組んでいきます。

#### ○自治会など

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な取り組みが行えない状況下にありました。

今後、感染症予防策を取りながらの活動が始まった際には協力して参ります。

#### ○地域包括ケア強化法に伴う2層協議体の活動として「みんなでつなぐてとてと会」の活動

活動日：6月23日、7月3日、7月13日、7月24日、8月7日、8月11日、9月8日、9月14日

9月28日、10月19日、11月9日、12月7日、

令和3年1月28日、3月8日、3月10日

住みやすい地域をつくることを目的に結成された第二層協議体は地域包括支援センターすえひろの職員や他の地域住民と連携を取り活動を行っています。新型コロナウイルス感染症予防策を取りながらの活動の中で活動自体が方向性を決めかねていない状況もある中で「てととと新聞」の発行から地域に見える化を進めています。今後も感染症予防策を取りながら地域包括支援センターすえひろや市役所とも連携を取り活動を進めていきます。

○青梅市認知症家族会「青梅ネット」としての活動

毎月定例会、事前打ち合わせ、交流会の毎月3回の活動に参加しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動の自粛期間がありましたが定期的に活動に参加していくことが必要と考えます。高齢者施設の職員として地域との課題連携についても進めていきます。

■その他

○ヒマワリプロジェクト

東日本大震災の復興支援のシンボルとしてヒマワリの種を配る活動を行った。今年度に関しては様々な取り組みの中から青梅駅のスペースに「やすらぎヒマワリプロジェクト」としてひまわりの種を植え、花を咲かせることが出来ました。

○青梅総合高校 定時制 「社会生活と福祉」市民講師としての活動

活動日：11月17日、1月5日、1月14日、1月28日、2月18日、3月2日、3月9日

「社会生活と福祉」という教科の中で市民講師として「認知症サポーター養成講座」をキャラバンメイトとして行い、他に「障がい者スポーツボッチャ」、「災害について」などの講義をおこないました。社会にとって、高齢者施設職員は社会資源として求められる部分もあり、社会福祉法人吹上苑の職員として今後も継続的に活動を行っていきます。

#### 4.1. 研修実施報告

令和 2 年度「施設内研修」は以下のように実施しました。研修の内容は基本的スキルを保持するもの、スキルアップを行うもの、そして運営基準上実施しなければならない研修を実施しました。今年度はコロナウイルス感染予防のため、基本的に集合での研修は行わずオンラインでの研修が主となりました。映像視聴などによる机上研修という新たな研修形式を実施することができました。

施設外研修はコロナウイルス感染予防のため前年を大幅に下回る件数派遣となり、こちらもオンラインでの形式が増えております。

無資格の介護職員は出来るだけ早めに介護福祉士実務者研修を受けて頂くものとししました。単に介護福祉士受験資格を得ることが目的ではありません。無資格のまま経験だけでケアを行うことは非常にリスクがあり、介護福祉士実務者研修では介護や医療的知識含め基礎教育を確実に受けられるため、新規採用時の専門的教育を行うことを目的として派遣を行いました。

#### 施設内研修

研修テーマ	参加職種・参加人数 実施日	研修講師 主な内容
・新入職員研修	令和 2 年 5 月 22 日(金) 参加者：5 名	講師：井本主任生活相談員 ・身体拘束・虐待について ・ご利用者との関わり ・リスクマネジメント ・サービスマナー
・新入職員研修	令和 2 年 10 月 20 日 参加者：1 名	講師：林副施設長 ・就業規則、介護保険制度について 講師：井本主任生活相談員 ・リスクマネジメント、身体拘束について
・個人情報保護研修	令和 2 年 10 月 22 日 参加者：42 名	講師：林副施設長 ・個人情報の取り扱いについて
・BCP に関する研修 (計 3 回) BCP に関する研修	令和 3 年 1 月 20 日 参加者：7 名 令和 3 年 1 月 21 日 参加者：3 名 令和 3 年 1 月 27 日 参加者：9 名	講師：久保貴寛庶務 ・「感染症発生時における業務継続計画」と「自然災害発生時における業務継続計画」の概要説明
新型コロナウイルス感染予防 個人防護具着脱研修(計 8 回)	令和 2 年 9 月 5 日 参加者 4 名 令和 2 年 9 月 30 日	講師：久保貴寛庶務 個人防護具の着脱について映像視聴しながら、2 名 1 組となり実際に着脱を行った。

	参加者：4名 令和2年9月23日 参加者：6名 令和3年12月2日 参加者：4名 令和3年1月20日 参加者：4名 令和3年2月3日 参加者：6名 令和3年2月10日 参加者：3名 令和3年3月10日 参加者：2名	はじめは重装のワンピースタイプのフルPPEを想定していたが、途中よりプラスチックガウンとより軽いシューズカバーの着用に変更して研修をすすめた。コロナウイルスに限らず感染症が発生した場合に、実際に対応にあたる可能性のある介護課職員はおおむね研修を受けることができる。
・リスクマネジメント研修	令和2年10月～11月 参加者：	講師：久保貴寛庶務 ・ヒヤリハット活動について 動画視聴とリアクションペーパー提出
・リスクマネジメント研修	令和2年12月～1月 参加者：	講師：久保貴寛庶務 ・ドーナツ誤嚥事故から考える 動画視聴とリアクションペーパー提出
・身体拘束、虐待研修	令和年月日	講師：井本、牧主任生活相談員
・食中毒に関する研修	令和3年2月	講師：小澤管理栄養士 ・食中毒について

### 施設外研修

研修テーマ	参加職種 実施日・参加人数	主催者 主な内容
介護福祉士実務者研修	介護職員1名 令和2年6月20日 6月27日 7月6日 7月11日 7月18日 7月25日 8月3日 8月8日 8月21日 8月28日	主催：多摩リハビリテーション学院 ・介護過程の基礎 ・介護過程の実際 ・介護過程の展開における事例(トランス) ・〃(衣類の着脱) ・〃(食事) ・〃(入浴・清拭) ・〃(排泄) ・試験 ・医療的ケアの理論と実践 ・経管栄養概論

職場内障がい者サポーター事業フォローアップ研修	令和2年7月12日 参加者：1名	主催：職場内障がい者サポーター事務局 障がいのある職員が職場内でいきいきと働き定着してもらうためのフォローアップ研修
応急手当上級救命講習	令和2年8月10日 参加者：1名 庶務	主催：東京防災救急協会 AEDの使用方法に関する研修
応急手当普及員講習	令和2年9月10日～12日 参加者：1名 庶務	主催：東京防災救急協会 事業所においてAEDの使用方法や傷病者等の手当てについて指導者を育成するための研修
障がいのある人の高齢化問題学習会	令和2年12月16日 参加者：2名 障がい者雇用担当	主催：特定非営利活動法人 秋川流域生活支援ネットワーク 障がい者の退行・高齢化について
機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価	令和3年2月25日 参加者：3名	主催：東京都高齢者施設協議会 介護報酬改定から個別機能訓練計画の立案まで
東京都 ACP 推進事業医療介護関係者向けオンライン研修	令和3年2月28日 参加者：9名 全職	主催：東京都福祉保健局 ACPの基礎知識について事前の映像視聴 認知症患者、がん患者の事例検討ディスカッション
認知症介護リーダー層研修会	令和3年3月3日 参加者：1名 介護副主任	主催：青梅成木台病院 目標達成力向上のための研修
東京都看護師認知症対応向上オンライン研修	令和3年3月21日 参加者：1名 看護課	主催：青梅成木台病院 認知症に関する基礎知識からグループワーク演習